

TimeTracker FX 基本的な使い方

*Professional Edition*編

2006/11
(株)デンソークリエイト



記載内容(機能&画面イメージなど)は、予告なく変更する場合があります。

Copyright(c) 2006 DENSO CREATE INC. All rights reserved

■ **TimeTracker FX** 概要

■ 基本操作

■ 運用準備

■ プロジェクトの立ち上げ

(TimeTracker FX 基本的な使い方 Standard Edition編をご覧ください)

■ プロジェクトの計画

■ 実績入力

(TimeTracker FX 基本的な使い方 Standard Edition編をご覧ください)

■ 進捗(実績)管理

■ 複数プロジェクト・部門の状況管理



ある機能を実行するための方法として、メニューバー・ツールバー・ショートカットキー・ショートカットメニューなど、いろいろ用意されていますが、全ての方法を列挙した場合、却って煩雑になります。
本ドキュメントでは、一般的と思われる方法で説明します。

TimeTracker FX 概要

TimeTracker FX 構成

Planner、Timesheet(共にv1)を統合し、FXでは1アプリケーションで構成されています

TimeTracker FX

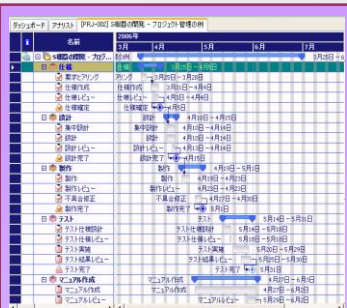


タイムシート

<概要>

直感的なI/Fでリアルタイムに工数・実績管理が可能

- ・工数入力
- ・進捗、成果量報告
- ・実績レポート

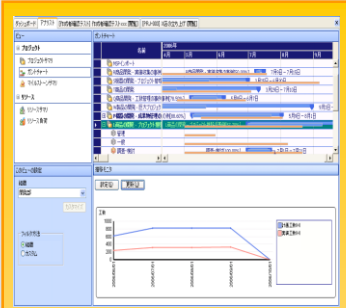


プランナー

<概要>

現場指向の柔軟な計画進捗管理が可能

- ・プロジェクト計画作成
- ・業務進捗管理
- ・工数実績管理
- ・コスト管理

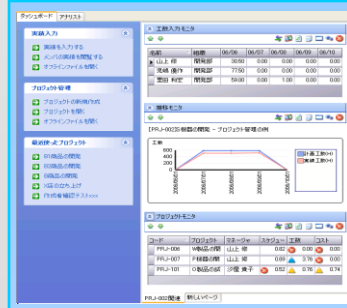


アナリスト

<概要>

複数プロジェクトの状況を横断的に管理可能

- ・プロジェクト概況
- ・マイルストーン管理
- ・リソース管理
- ・複数プロジェクトのガントチャート表示
- ・全リソース対象のリソース負荷表示

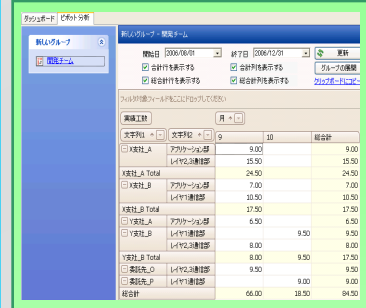


ダッシュボード

<概要>

現場の状況を、いつでもモニタリング可能

- ・工数入力状況確認
- ・工数推移状況確認
- ・ページ機能
- ・推移モニタ
- ・プロジェクトモニタ



ピボット分析

<概要>

期間やプロジェクトを自由に選択し、工数をピボット集計が可能

- ・工数のピボット分析



Administratorは別アプリケーションです

Copyright(c) 2006 DENSO CREATE INC. All rights reserved

TimeTracker FX の起動

- 一度ログインすれば、全ての機能が利用出来ます。

ツールログイン後、ダッシュボードが表示される

メニューから

ダッシュボード上から選択

タイムシート(T) ▶
プランナー(P) ▶
ピボット分析(V)
アナリスト (A)

名前	担当グループ
設計	
A機能設計	
A-1階層設計	X支社_A
A-2階層設計	Y支社_A
A-3階層設計	X支社_B
B機能設計	
B-1階層設計	Y支社_B
B-2階層設計	X支社_A
B-3階層設計	委託先_O

TimeTracker FX (Professional) 主要機能一覧①

■ プロジェクト管理

■ 計画

- プロジェクト・スケジュールの作成
 - プロジェクトの同時編集
 - 柔軟なWBSの定義(FX-WBS)
 - 成果物(内容、規模)の設定
 - 稼働日を考慮したタスクの移動
 - 計算式による計画・見積もり支援
 - 50のプロジェクトのカスタムフィールド

■ 進捗管理

- テーブル・ガントチャート表示及びカスタマイズ(条件付書式)
- WBSの表示絞込み(フィルタ・テーブル)
- メンバの進捗確認
- 成果量管理(規模進捗/生産性)

■ リソース管理

- リソース割り当て
- タスクのリーダー割り当て
- プロジェクトメンバのグループ定義
- プロジェクトのリソース負荷管理

■ コスト管理

- アカウント別コスト単価と標準単価
- プロジェクトコストの予実管理

■ 分析/集計支援

- リソース毎の作業実績の集計
- プロジェクトカテゴリ
- アクティビティ

■ 計画の再利用

- WBSテンプレート機能
- プロジェクト設定のインポート

■ バージョン管理

- ベースライン管理

■ その他

- ガントチャートのオフライン出力機能
- ガントチャートの印刷

TimeTracker FX (Professional) 主要機能一覧②

■ 工数管理

■ 実績入力

- 作業実績の入力
 - レコーダーによる作業実績入力
 - 実績のメモ入力
- オフライン機能

■ タスク管理

- タスク毎の進捗状況の入力・確認
 - タスクのフィルタ・グルーピング
 - よく使うタスク/プロジェクトの登録

■ 実績閲覧

- 実績データのレポート出力
 - 他ユーザの実績/レポートの閲覧
 - 個人進捗の確認

■ 分析・モニタリング

■ モニタリング

- ダッシュボード(工数入力・プロジェクト・推移モニタ)

■ 複数プロジェクト管理

- 複数プロジェクトの状況サマリ・ガントチャート表示
- 複数プロジェクトのマイルストーン確認
- 進捗の推移グラフ

■ 組織横断管理

(複数メンバの工数実績・リソース負荷管理)

■ 工数分析(工数のピボット分析)

■ 他システムとの連携

- データエクスポート(CSVエクスポート)
- 外部プログラムとの連携
 - 高度なクリップボード連携
 - オートメーションAPI公開

■ 共通

■ その他

- サーバでのデータ自動更新・計測
- Offline Edition(計画のオフライン出力)

TimeTracker FX(Professional) Standardからの追加機能①

プロジェクト管理

主な新機能

■ プロジェクト管理機能の強化

- プロジェクトの同時編集
複数のメンバが、一つのプロジェクトを同時編集可能
- FX-WBSによる柔軟なWBS定義
タスクパッケージ単位で計画・進捗入力可能
- 計算式による計画・見積もり支援
計算式を使って計画工数や進捗率などの計算可能
- カスタムフィールド
数値・日付・文字列を格納可能な50のユーザ定義可能
- カレンダー設定
システムの標準的な稼働日を設定するカレンダー
(Administrator)
プロジェクト毎に固有の稼働日を設定するカレンダー
(プランナー)
- 稼働日を考慮したタスクの移動
プランナーのカレンダーで設定した稼働日を考慮して
タスクの移動やリソースの負荷計算が可能

- テーブル・ガントチャート表示のカスタマイズ
テーブルの表示色、フォントなどをタスクの状況によって自由に変更可能
- WBSの表示絞り込み
テーブル・フィルタ機能により表示するWBSやその内容を絞り込み可能。また、フィルタリングする条件を、計算式エディタでカスタマイズ可能。
- プロジェクトのリソース負荷管理
プロジェクトメンバの負荷状況をグラフや表形式で確認可能
- 高度なクリップボード連携
プロジェクトのWBSの情報をクリップボードに出力、またクリップボードの内容でWBSの情報を更新可能
- プロジェクト設定のインポート機能
他のプロジェクトの、プロジェクトのカスタムフィールドやフィルタの設定情報をインポート可能

TimeTracker FX(Professional) Standardからの追加機能②

分析・モニタリング

主な新機能

- **複数プロジェクトのガントチャート表示**
複数プロジェクトの進捗状況をガントチャートで一度に確認可能
問題のあるプロジェクトや関連するプロジェクトの状況を簡単に確認
- **進捗の推移グラフ**
ガントチャートで表示したプロジェクトのノードごとに、推移グラフで詳細な進捗が確認可能
- **複数メンバーのリソース負荷管理**
組織メンバーのリソース負荷状況を確認可能
- **工数のピボット分析**
表計算ソフトのピボット機能のように、実績工数を自由に集計可能

■ ダッシュボード

- **プロジェクトモニタ**
指定プロジェクトの進捗・工数・コストの指標を一覧で確認可能
- **推移モニタ**
指定プロジェクトの進捗・工数・コストなどの推移を確認可能

基本操作－運用準備

Administrator 基本データの登録

■ 組織、役割、アカウントを以下の順に登録する

■ ①役割の定義

- アカウントに割り当てる権限の組み合わせを登録
- 設定可能な権限は以下の通り



役割名	実績閲覧	実績編集	計画閲覧	計画作成・編集	コスト	コスト単価	実績エクスポート	ピボット分析	ダッシュボード	分析	DB管理	無効
DB管理者	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
部長	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

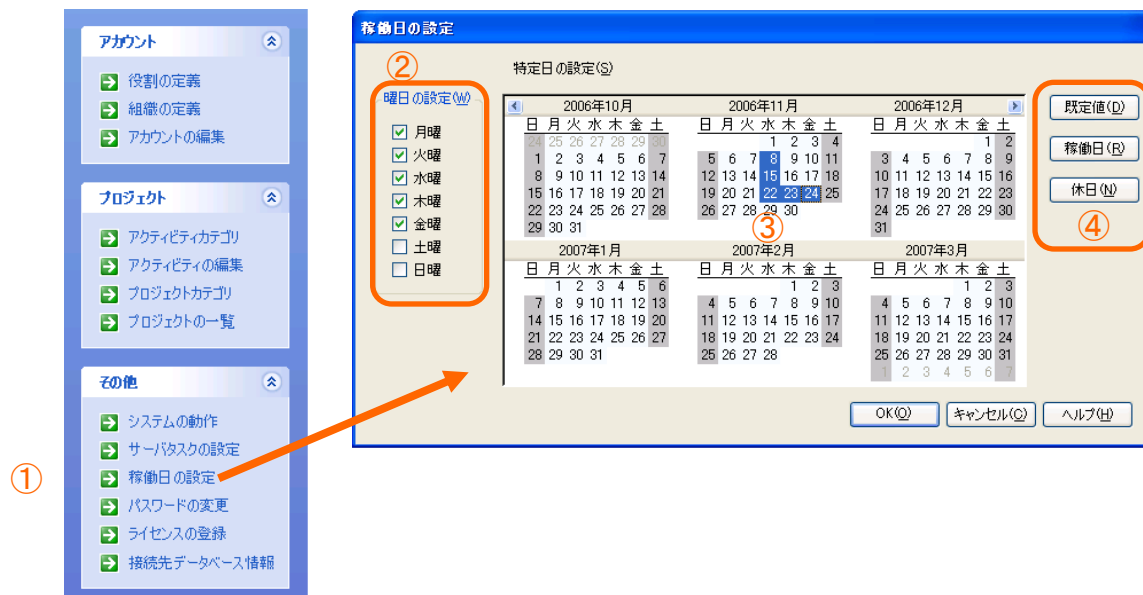
- 実績閲覧/編集
(自分以外のアカウムのタイムシートに関する操作権限)
- 計画閲覧/作成作成・編集(プランナーに関する操作権限)
- コスト/コスト単価(コスト関係の表示・操作に関する権限)
- 実績エクスポート(実績エクスポート機能に関する操作権限)
- ピボット分析(ピボット分析機能に関する操作権限)
- ダッシュボード(ダッシュボード機能に関する操作権限)
- 分析(アナリストに関する操作権限)
- DB管理(Administratorに関する操作権限)

■ ②組織の定義、③アカウントの編集

- Standard編をご覧ください。

Administrator 稼働日の設定

- システムの標準的な稼働日を設定する
 - **Professional Edition**でのみ設定できる

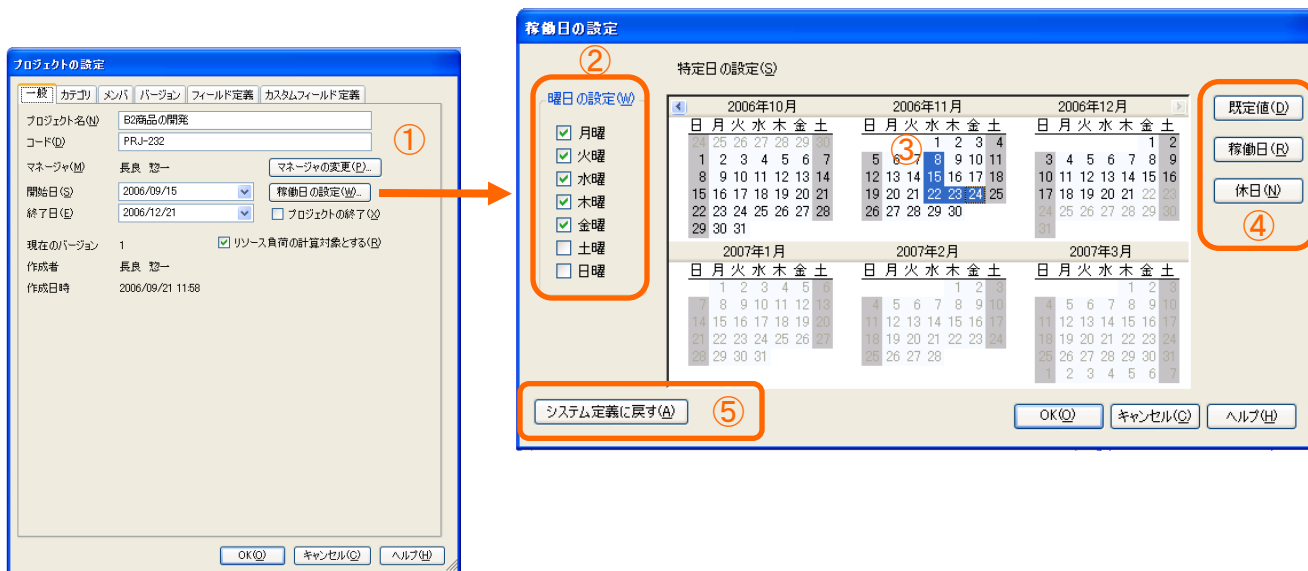


1. [グループ・ビュー]ペインの[その他]グループにある、[稼働日の設定]を起動(①)
2. [稼働日の設定]ダイアログの[曜日の設定]で稼働日を設定(②)
3. [特定日の設定]で、複数日を選択して[稼働日][休日]及び[既定値]への復帰が一括設定できる(③、④)

基本操作—プロジェクトの計画

プランナー 稼働日の設定

- プロジェクトの[開始日]～[終了日]期間における、稼働日(および休日)の設定確認・変更可能
 - **Professional Edition**でのみ設定できる



1. [ファイル]-[プロジェクトの設定]を実行する
2. 「プロジェクトの設定」ダイアログの[稼働日の設定]ボタンをクリックする(①)
3. [稼働日の設定]ウィンドウの[曜日の設定]で稼働日を設定(②)
4. [特定日の設定]で、複数日を選択して[稼働日][休日]及び[既定値]への復帰が一括設定できる(③、④)
5. [システム定義に戻す]で、Administratorにて設定した稼働日に戻る(⑤)

プランナー 柔軟なWBSの定義「FX-WBS」について

FX-WBS (Flexible WBS)とは

FX-WBSとは従来タスク単位で入力していた計画や進捗をタスクパッケージ単位で入力可能になる仕組みです。これにより計画は大まかに、実績や分析は細かくなど実際の現場に即した管理が可能です。

FX-WBSでの機能

・タスクパッケージへの計画・進捗入力

タスクパッケージの単位で計画(期間・工数・コストなど)を直接入力できます。タスクパッケージは今まで通り下位の計画のサマリとすることもできますし、値を直接上書きすることもできます。プロジェクトの初期段階の計画作成に最適です。

・フィールド毎の値の決定方法

各ノードのフィールド(計画工数や進捗率カスタムフィールドなど)ごとに値をどのように決定するかを個別に指定できます。

プランナー FX-WBSの利用法①

タスクパッケージへの計画の入力

情報	名前	開始日	終了日	計画工数
	B1商品の開発	2006/09/15	2006/10/31	50
	仕様	2006/09/15	2006/10/31	50
	要求ヒアリング	2006/09/08	2006/09/18	0
	仕様作成			0
	仕様レビュー	2006/10/25	2006/10/31	0

■入力可能なフィールドの例

- ・計画工数
- ・開始日
- ・終了日
- ・規模計画
- ・計画成果量

※タスクとほぼ同等の利用が可能

1. プランナーのガントテーブルからタスクパッケージに計画を直接入力(①)
2. 子ノードの計画があっても、無視してそのタスクパッケージの計画が採用される(②)

① 計画だけでなく、実績(進捗率や実績成果量)などもパッケージ単位で入力可能

② 子ノードと計画のずれがある場合は警告アイコン(③)やセルの色がピンク(④)となる。

情報	名前	開始日	終了日	計画工数
	B1商品の開発	2006/09/15	2006/10/31	50
	仕様	2006/09/15	2006/10/31	50
	要求ヒアリング	2006/09/08	2006/09/18	0
③	仕様作成			④ 0
	仕様レビュー	2006/10/25	2006/10/31	0

プランナー FX-WBSの利用法②

フィールド値の決定方法

タスクパッケージの期間・リソースを子ノードに割り当てる例

①

フィールド

編集対象 [タスク] ②

フィールド	フィールド値の決定方法	値
コード	ユーザー入力値	
リーダー名	ユーザー入力値	
リソース名	親ノードの値	
活動コード	ユーザー入力値	
活動コード2	ユーザー入力値	
活動コード3	ユーザー入力値	
活動コード4	ユーザー入力値	
活動コード5	ユーザー入力値	
開始日	親ノードの値	
終了日	親ノードの値	
計画工数	ユーザー入力値	
進捗率	進捗率(0/50/100法)	
計画成果量	ユーザー入力値	
実績成果量	リソースの規模実績合計	
計画コスト	工数から計算	
実績コスト	工数から計算	
規模単位	ユーザー入力値	
成果物情報	ユーザー入力値	
ノードの説明	ユーザー入力値	
計画生産性	ユーザー入力値	
担当グループ	ユーザー入力値	

③

④ 適用

	名前	開始日	終了日	リソース名	計画工数
	B商品の開発	2006/09/01	2006/12/31		152
	仕様	2006/09/01	2006/09/30	柴田 智彦,岡本 直哉,長良 惣一	42
	要求ヒアリング	2006/09/01	2006/09/30	柴田 智彦,岡本 直哉,長良 惣一	6
	仕様作成	2006/09/01	2006/09/30	柴田 智彦,岡本 直哉,長良 惣一	30
	仕様レビュー	2006/09/01	2006/09/30	柴田 智彦,岡本 直哉,長良 惣一	6

親ノードの値が、子ノードに割り当てられている。

1. 設定するノードを選択し、[表示]-[ドッキングウィンドウ]-[フィールド]でフィールドドッキングウィンドウを表示(①)
2. [編集対象]を[タスク]に変更(②)
3. [開始日(終了日)]及び[リソース名]の[フィールド値の決定方法]を[親ノードの値]に設定(③)
4. 適用ボタンを押す(④)
5. [子ノード]へは、親ノードの値がそのまま割り当てられる。



今回のようにユーザーが直接入力していないフィールドはグレーのテキスト表示となる

プランナー FX-WBS活用例

活用例

①「期間はだまかでよいが、計画工数は詳細に計画したい」 → 期間はタスクパッケージで決定し、計画工数はタスク単位で詳細に計画する

名前	開始日	終了日	計画工数
日 A機能設計	2006/10/24	2006/11/01	300
A-1倍設計	2006/10/24	2006/11/01	80
A-2倍設計	2006/10/24	2006/11/01	120
A-3倍設計	2006/10/24	2006/11/01	100

タスクには、直接工数を設定し、
タスクパッケージを[子ノードの合計]に設定する
(標準設定と同様)

②「タスクによっては、リソース割り当てを細かくしたい」 → 必要に応じてタスク毎にリソース割り当てする(Ex.レビューだけは上田さんでないといけない等)

名前	リソース名	開始日	終了日	計画工数
日 仕様	柴田 智彦,岡本 直哉,長良 惣...	2006/09/01	2006/09/30	42
要求ヒアリング	柴田 智彦,岡本 直哉,長良 惣...	2006/09/01	2006/09/08	6
仕様作成	柴田 智彦,岡本 直哉,長良 惣...	2006/09/08	2006/09/25	30
仕様レビュー	上田 次郎	2006/09/25	2006/09/29	6

変更すれば[親と同じ]ではなくなる

③「タスク毎に進捗を細かく見たい」 → 進捗をタスク毎に完了・未完了(0/50/100法でよい)にすると作業ステップのような使い方ができる

名前	リソース名	開始日	終了日	計画工数	実績工数	進捗率
日 外部仕様	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	8	9.25	81.20%
仕様目次	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	0.00	100.00%
目次レビュー	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	0.00	100.00%
仕様ドラフト	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	0.00	100.00%
ドラフトレビュー	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	1.50	100.00%
外部仕様書	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	7.75	100.00%
外部仕様書レビュー	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	0.00	50.00%
指摘事項の反映	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	0.00	50.00%
完成確認	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/03/06	2006/03/17	0	0.00	50.00%

作業手順(詳細工程)を
タスクにしたケース

作業アイテムを
タスクにしたケース

名前	リソース名	開始日	終了日	計画工数	実績工数	進捗率
日 実装	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	56.20%
MyProjectクラス雛形	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	100.00%
シリアライズ実装	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	100.00%
デシリアライズ	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	100.00%
選択ダイアログUI	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	100.00%
DBからロード処理	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	0.00%
DB保存処理	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	50.00%
レジストリ保存	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	0.00%
ユニットテスト	栗山 順次,山下 琢,小...	2006/02/28	2006/03/02	0	0.00	0.00%

プランナー カスタムフィールドの利用法①

カスタムフィールドとは

カスタムフィールドには、「ノードのカスタムフィールド」と「プロジェクトのカスタムフィールド」があります。

ノードのカスタムフィールドとは

ユーザがノードに対し、ユーザが独自の目的でフィールドを設定できます。テーブル定義で、通常のフィールドと同様、表示の有無の選択も可能です。

- ・ノード毎に50のフィールド(数値 30個、テキスト 10個、日付 10個)
- ・表示文字列は変更可能 (デフォルト:「数値1」など)
- ・計算式での識別子は変更不可 (「CustomNumber1」など)

ノードのカスタムフィールドを使ってできること

- ・各種パラメータが格納出来ます。
プロジェクト又は会社、業界に応じた計算及びフィルタ用として使用するパラメータやプロジェクト独自の情報を設定し基準生産性、タスク毎の見積根拠、レビュー日程等の計算用パラメータ等が格納出来ます。
- ・各種プロジェクト状態を示すデータが格納出来ます。
計測した1次データ(実績工数、成果量、レビュー開催数等)を入力とし、(プロジェクト又は会社、業界等で利用されている)分析アルゴリズムで算出した、プロジェクト状態を表現するデータ(レビュー比率、工数消化率等)を格納出来ます。
- ・プロジェクト独自の業務分類用のデータ(属性)が格納出来ます。
各ノードに、プロジェクト特有の業務識別子を付加することで、多岐に渡るプロジェクト活動の分析が出来ます。

プロジェクトのカスタムフィールドとは

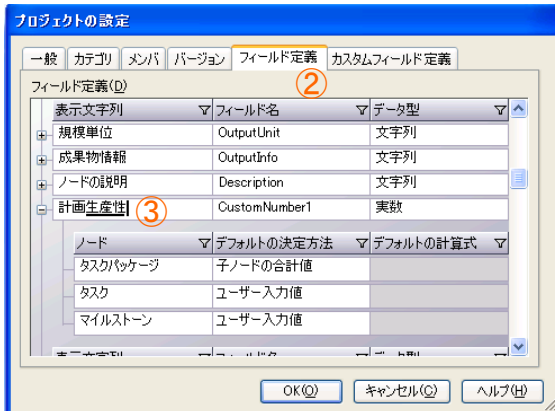
プロジェクト独自の「定数」定義であり、ノードのフィールド計算式や各種の条件式にて、その値を参照できます。



プランナー カスタムフィールドの利用法②

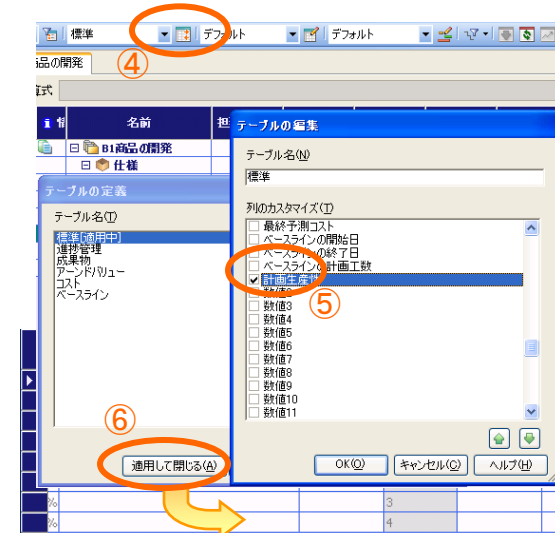
ノードのカスタムフィールド使用前準備

ここでは、計画工数を見積もるために、一日当たりの生産性を表す指標「計画生産性」をカスタムフィールドに設定する方法を説明します。



■ カスタムフィールドの名前を設定する

1. [ファイル]-[プロジェクトの設定]を実行する
2. 「プロジェクトの設定」ダイアログの[フィールド定義]を選択する(②)
3. 「数値1」のフィールドを選択し、表示列を「計画生産性」に変更する(③)



■ 定義したカスタムフィールドを計画テーブル上に追加する

1. [表示]ツールバーの[テーブルの定義]を実行する(④)
2. [テーブル定義]の任意のテーブルの定義で、対象カスタムフィールドをチェックする(⑤)
3. [テーブル定義]の[適用して閉じる]を実行する(⑥)
4. ガントテーブルの最右端に追加した対象のノード・カスタムフィールドが追加される(⑦)

ノード名	実績工数	ノードの説明	計画生産性
	0.00		0.00
	0.00	顧客ヒアリング	0.00
	0.00		0.00
	0.00		0.00
	0.00		0.00
	0.00		0.00
	0.00	設計作業	0.00
	0.00	テスト	0.00
	0.00	部下指導	0.00

プランナー カスタムフィールドの利用法③

ノードのカスタムフィールドの使用方法

■ 追加したノードのカスタムフィールドに、値または計算式を入力する

- [フィールド値の決定方法]の設定が「ユーザー入力値」の場合は、フィールドに値を設定する (⑧)
- [フィールド値の決定方法]の設定が「計算式」の場合は、式エディタの起動ボタン[]が発生し、そのボタンクリックで式エディタが起動し設定可能 (⑨)

■ タスクパッケージにフィールド値の決定方法を設定する

タスクパッケージの「計画生産性」は、データの属性から子ノードの「計画生産性」の平均値を表すものでなければなりません。ここでは、タスクパッケージの「計画生産性」のフィールド値の決定方法を「子ノードの平均値」に設定する操作方法を説明します。

- 子ノードの「計画生産性」の[フィールド値の決定方法]の設定が「ユーザー入力値」に設定し、「計画生産性」のフィールドに値を設定する (⑩)
- タスクパッケージの「計画生産性」の[フィールド値の決定方法]の設定を「子ノードの平均値」に設定し、[適用]ボタンをクリックする (⑪)
- タスクパッケージの「計画生産性」は、3つの子ノードの「計画生産性」の平均値である「50」が設定される (⑫)

名前	開始日	終了日	計画工数	計画生産性
B1商品の開発	2006/09/15	2006/11/30	50	0.00
設計	2006/11/01	2006/11/30	0	0.00
A部階設計	2006/11/01	2006/11/30	0	50.00
B部階設計	2006/11/01	2006/11/30	0	40.00
C部階設計	2006/11/01	2006/11/30	0	60.00

成果物情報 ユーザー入力値
 ノードの説明 ユーザー入力値
 計画生産性 子ノードの平均値

名前	開始日	終了日	計画工数	計画生産性
B1商品の開発	2006/09/15	2006/11/30	50	50.00
設計	2006/11/01	2006/11/30	0	50.00
A部階設計	2006/11/01	2006/11/30	0	50.00
B部階設計	2006/11/01	2006/11/30	0	40.00
C部階設計	2006/11/01	2006/11/30	0	60.00

プランナー カスタムフィールドの活用例①

活用例①

「担当グループ毎に業務を見たい」 → カスタムフィールドに[担当グループ]を追加し、担当グループ毎にフィルタリングできます

① カスタムフィールド[担当グループ]を追加し、タスク毎に担当チームを設定する

② 担当グループ毎に絞込むフィルタ設定を追加する

③ 特定の担当グループの業務状態を確認するためフィルタを切替える

・担当グループに割り当てられているタスクの業務状況が、漏れなく確認出来る

・大規模業務を複数のチーム(自社、他社問わず)で開発する場合、全体及びチーム毎の業務状況把握が容易に出来る

名前	担当グループ	開始日	終了日	計画工数	計画生産性	進捗率
B1商品の開発		2006/09/15	2006/11/30	920	150.00	0.00%
設計		2006/11/01	2006/11/30	300	150.00	0.00%
A機能設計	X支社_A	2006/11/01	2006/11/30	80	50.00	0.00%
B機能設計	X支社_A	2006/11/01	2006/11/30	210	150.00	0.00%
B-2部設計	X支社_A	2006/11/01	2006/11/30	60	40.00	0.00%

1. カスタムフィールド[担当グループ]を追加し、タスク毎に担当チームを設定する (①)
2. 担当グループ毎に絞込むフィルタ設定を追加する (②)
3. 特定の担当グループの業務状態を確認するためフィルタを切替える (③)

プランナー カスタムフィールドの活用例②

活用例②

「各業務をさまざまな角度から、分析したい(工数分析等)」 → カスタムフィールドに複数の分析カテゴリを追加し、各々の分析情報が容易に取得することが出来ます

[PRJ-232] B2商品の開発 - TimeTracker FX Professional Edition

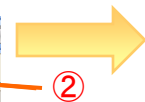
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

すべて ← コスト ← デフォルト ← デフォルト

ダッシュボード [PRJ-231] B1商品の開発 [PRJ-232] B2商品の開発

計算式

名前	機能カテゴリ	設計範囲	新規性	計画工数	実績工数	計画コスト	実績コスト
日 B2商品の開発				870	84.50	¥2,610,000	¥253,500
日 設計				870	84.50	¥2,610,000	¥253,500
日 A機能設計				300	22.50	¥900,000	¥67,500
A-1部階設計	アプリケーション部	ソフトウェア設計	新規	80	9.00	¥240,000	¥27,000
A-2部階設計	アプリケーション部	ソフトウェア設計	新規	120	6.50	¥360,000	¥19,500
A-3部階設計	アプリケーション部	ソフトウェア設計	流用	100	7.00	¥300,000	¥21,000
日 B機能設計				210	33.00	¥630,000	¥99,000
B-1部階設計	レイヤ2,3通信部	ソフトウェア設計	新規	50	8.00	¥150,000	¥24,000
B-2部階設計	レイヤ2,3通信部	ソフトウェア設計	流用	60	15.50	¥180,000	¥46,500
B-3部階設計	レイヤ2,3通信部	ハード設計(ファーム設計含)	流用	100	9.50	¥300,000	¥28,500
日 C機能設計				360	29.00	¥1,080,000	¥87,000
C-1部階設計	レイヤ1通信部	ハード設計(ファーム設計含)	新規	200	10.50	¥600,000	¥31,500
C-2部階設計	レイヤ1通信部	ハード設計(ファーム設計含)	新規	60	9.50	¥180,000	¥28,500
C-3部階設計	レイヤ1通信部	ハード設計	流用	100	9.00	¥300,000	¥27,000



名前	機能カテゴリ	計画工数	実績工数	計画コスト	実績コスト
日 B2商品の開発		870	81.50	¥2,610,000	¥244,500
日 設計		870	81.50	¥2,610,000	¥244,500
日 A機能設計		300	25.50	¥900,000	¥76,500
A-1部階設計	アプリケーション部	80	9.00	¥240,000	¥27,000
A-2部階設計	アプリケーション部	120	6.50	¥360,000	¥19,500
A-3部階設計	アプリケーション部	100	10.00	¥300,000	¥30,000

ダッシュボード ピボット分析

新しいグループ 既定チーム

開始日 [2006/08/01] 終了日 [2006/12/31] 更新

☒ 合計行を表示する ☒ 合計列を表示する ☒ 総合計行を表示する ☒ 総合計列を表示する

フィルタリングフィールドをここにドロップしてください

実績工数	月	9	10	総合計
文字列1	文字列2	9	10	総合計
X支社_A	アプリケーション部	9.00		9.00
	レイヤ2,3通信部	15.50		15.50
X支社_A Total		24.50		24.50
X支社_B	アプリケーション部	7.00		7.00
	レイヤ1通信部	10.50		10.50
X支社_B Total		17.50		17.50
Y支社_A	アプリケーション部	6.50		6.50
	レイヤ1通信部	9.50		9.50
Y支社_A Total		8.00		8.00
Y支社_B	レイヤ2,3通信部	8.00	9.50	17.50
Y支社_B Total		9.50		9.50
合計行_P	レイヤ1通信部		9.00	9.00
総合計		66.00	18.50	84.50



- 各業務をさまざまな角度で分類しておく (①)
この例では、「機能カテゴリ」、「設計範囲」、「新規性」の角度からコスト分析するために設定
- テーブル定義とフィルター定義の切替えによって、必要な分類の情報が容易に得る事が出来る (②)
- さらに、これら分析データを利用し、ピボット分析機能で各解析軸の集計も可能 (③)



これら分析データを利用し、

- ・ガントバーの色・書式設定機能と連動させ、視認性を向上できます。
- ・ピボット分析機能で、各解析軸の集計が出来きます。



複数プロジェクト横断で工数を分析・集計する場合は[アクティビティ]を使用する事をお勧めします。

プランナー プロジェクトのカスタムフィールド定義の設定

プロジェクトのカスタムフィールド定義

プロジェクトの設定

一般 カテゴリ メンバ バージョン フィールド定義 カスタムフィールド定義

カスタムフィールド定義(E)

表示文字列	フィールド名	データ型	値
数値1 ①	CustomNumber1	実数	0 ②
数値2	CustomNumber2	実数	0
数値3	CustomNumber3	実数	0
数値4	CustomNumber4	実数	0
数値5	CustomNumber5	実数	0
数値6	CustomNumber6	実数	0
数値7	CustomNumber7	実数	0
数値8	CustomNumber8	実数	0
数値9	CustomNumber9	実数	0

☐ デフォルトの表示文字列以外が設定されているフィールドのみを表示(A)

OK(Q) キャンセル(Q) ヘルプ(H)

プロジェクト独自のカスタムフィールド値を設定する。

1. [ファイル]-[プロジェクトの設定]を実行する
2. 「プロジェクトの設定」ダイアログの[カスタムフィールド定義]シートを選択する
3. [表示文字列]にカスタムフィールド値の名称を設定する(①)
4. それぞれの[データ型]に応じて、適切な値を入力・変更する(②)

プランナー プロジェクトの同時編集

タスクパッケージ単位で編集・閲覧が可能のため、複数のユーザーで同時編集出来ます。

プロジェクトを開く

フィールド毎にグループ分けするときは、ここにフィールド名をドラッグします

コード	プロジェクト名	マネージャ	組織	開始日	終了日	ステータス	チェックアウト
PRJ-004	T商品の開発	上田 次郎	開発部	2006/03/25	2007/01/15	稼働中	岡本 直哉 さんが
PRJ-005	Q商品の開発 -	山上 修	開発部	2006/04/24	2006/08/31	稼働中	編集可能
PRJ-006	W製品の開発	山上 修	開発部	2005/09/01	2006/08/31	稼働中	里田 和宏 さんが
PRJ-007	P機器の開発	山上 修	開発部	2006/05/01	2006/08/31	稼働中	岡本 直哉 さんが
PRJ-101	O製品の試作 -	汐屋 貴子	研究部	2006/05/01	2006/07/31	稼働中	山田 静香 さんが
PRJ-102	N機能の研究 -	汐屋 貴子	研究部	2006/05/01	2006/07/31	稼働中	編集可能
PRJ-103	M機能の研究 -	汐屋 貴子	研究部	2006/05/01	2006/07/31	稼働中	岡本 直哉 さんが
PRJ-201	L商品の開発 -	山上 修	開発部	2006/07/01	2006/10/31	稼働中	山田 静香 さんが
PRJ-230	B商品の開発	長良 悠一	開発部	2006/09/01	2006/12/31	稼働中	編集可能
PRJ-231	B1商品の開発	長良 悠一	開発部	2006/09/15	2006/12/31	稼働中	長良 悠一 さんが
PRJ-232	B2商品の開発	長良 悠一	開発部	2006/09/15	2006/12/21	稼働中	部分編集集中
PRJ-O-001	Y店の立ち上げ	山田 静香	統括	2006/09/01	2007/01/31	稼働中	岡本 直哉 さんが

対象
☐ 管理プロジェクト(M) ☐ 担当プロジェクト(B) ☒ すべて(A)

☐ バージョンを指定して開く(V)
☐ 開くモードを開く(O)
☒ ノードを指定して開く(N) ②

① OK(O) キャンセル(C) ヘルプ(H)

ノードを指定して開く

開発

- 仕様 ③
- 設計
- 製作 - 岡本 直哉 さんが編集集中
- テスト
- 保守
- 管理
- その他

④ OK(O) キャンセル(C) ヘルプ(H)



アイコンの状態

- 部分編集集中
- 編集不可
- 編集可能



「プロジェクトを開く」で部分編集集中のプロジェクトは「部分編集集中」と表示されます。

1. [プロジェクトを開く]-[ノードを指定して開く]をチェックし、[OK]をクリックする (①、②)
2. ノードを選択し、[OK]をクリックする (③、④)
3. 選択したタスクパッケージ以下のみ表示される (⑤)

[PRJ-005] Q商品の開発 - 工数管理の事例 - 1.1 - TimeTracker FX Professional Edition

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ダッシュボード [PRJ-231] B1商品の開発 [PRJ-232] B2商品の開発 - 1 [PRJ-005] Q商品の開発 - 工数管理の事例 - 1.1

名前	開始日	終了日	活動コード	2006年
				4月 5月 6月 7月
Q商品の開発 - 工数管理の事例	2006/05/08	2006/06/07	工数管理の事例	5月8日 - 6月7日
日 仕様	2006/05/08	2006/06/07	仕様	5月8日 - 6月7日
要求ヒアリング	2006/05/08	2006/06/07	仕様	5月8日 - 6月7日
仕様作成	2006/05/08	2006/06/07	仕様	5月8日 - 6月7日
仕様レビュー	2006/05/08	2006/06/07	レビュー	5月8日 - 6月7日

オンライン : 長良 悠一 | 編集

計画工数の合計 = 68



部分編集集中は、他の編集操作との同期はしていません。

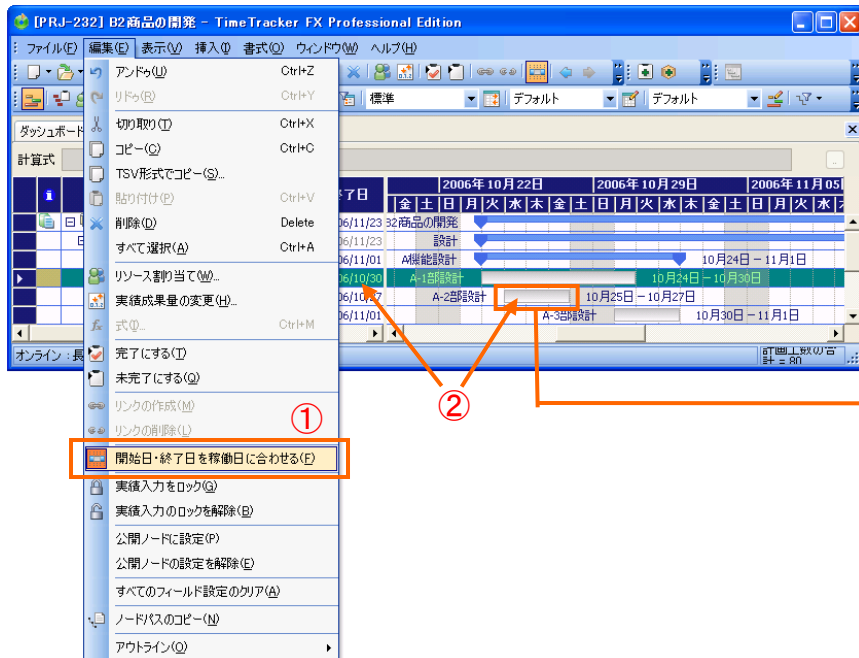


同時編集では、ユーザは1つのタスクパッケージを編集できます。
同じプロジェクトのタスクパッケージを複数開くことはできません。
※異なるプロジェクトであれば、いくつでも開けます。



プランナー 稼働日を考慮したタスクの移動

計画期間の変更時に、元の稼働日数が変化せず、開始日・終了日が稼働日となるように自動調整する機能です。

[illegible]

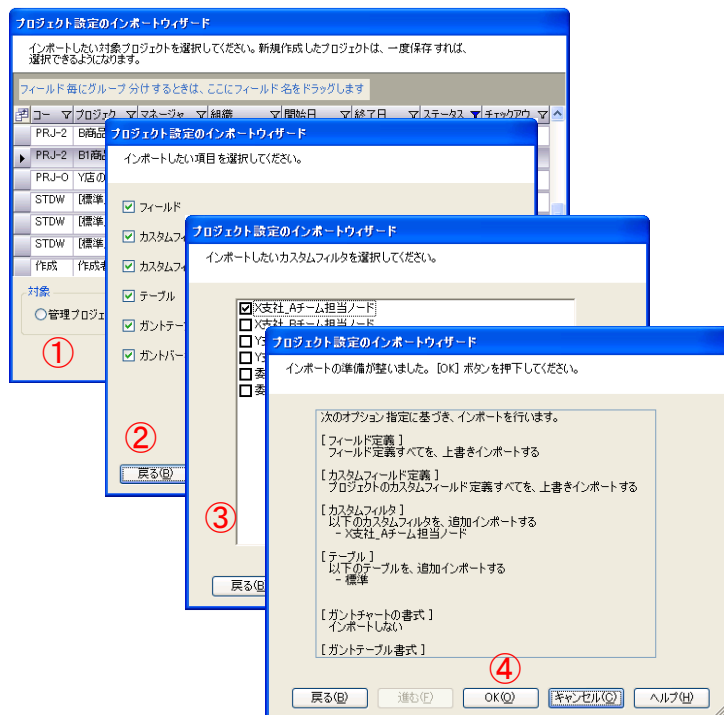
1. メニューから[編集]→[開始日・終了日を稼働日に合わせる]を有効に設定する(①)
2. WBSの開始日・終了日をガントバーで変更する(②)
3. この例では、A-2部設計の開始日を10月25日(水)から1日遅らせ10月26日(木)にする(③)
4. 元の稼働日数(3日)及び開始日・終了日が稼働日となるように未来方向へ自動調整され、終了日が10月30日(月)になる(④)



[開始日・終了日を稼働日に合わせる]を無効に設定し、上記と同様に開始日を1日遅らせると、終了日が10月28日(土)になります。(⑤)

プランナー プロジェクト設定のインポート

プロジェクトに登録した各種設定を、他のプロジェクトで再利用が可能です。計画作成工数の節約、管理指標の均一化につながります。



再利用可能な設定

- フィールド定義
(設定詳細は、本誌『プランナー FX-WBSの利用法②』を参照)
- カスタムフィールド定義
(設定詳細は、本誌『プランナー カスタムフィールドの利用法②』を参照)
- カスタムフィルタ定義
(設定詳細は、本誌『プランナー 計画テーブルの行(ノード)表示の絞込み』を参照)
- テーブル定義
(設定詳細は、本誌『プランナー 計画テーブルのフィールド表示切り替え』参照)
- ガントテーブル書式定義
(設定詳細は、本誌『プランナー ガントテーブルのテーブル書式の切り替え』参照)
- ガントバー書式
(設定詳細は、本誌『プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え』参照)

操作方法

1. [ファイル] - [プロジェクト設定のインポート] で、ウィザードを表示する(①)
2. インポートしたい設定を持つプロジェクトを選択する(②)
3. ウィザードに従い、インポートしたい詳細項目を選択する(③)
4. 最後のページで、[OK] ボタンをクリックするとインポートが実行される(④)



再利用可能な設定は、各々の設定をファイルにエクスポートまたはインポートできます。操作方法是、各設定定義の項をご覧ください。



インポート時、上書き及び設定の重複にご注意下さい。

・フィールド定義、カスタムフィールド定義は、設定を上書きします。

・カスタムフィルタ定義、テーブル定義、ガントテーブル書式定義、ガントバー書式定義は、同一設定があっても追加されます。

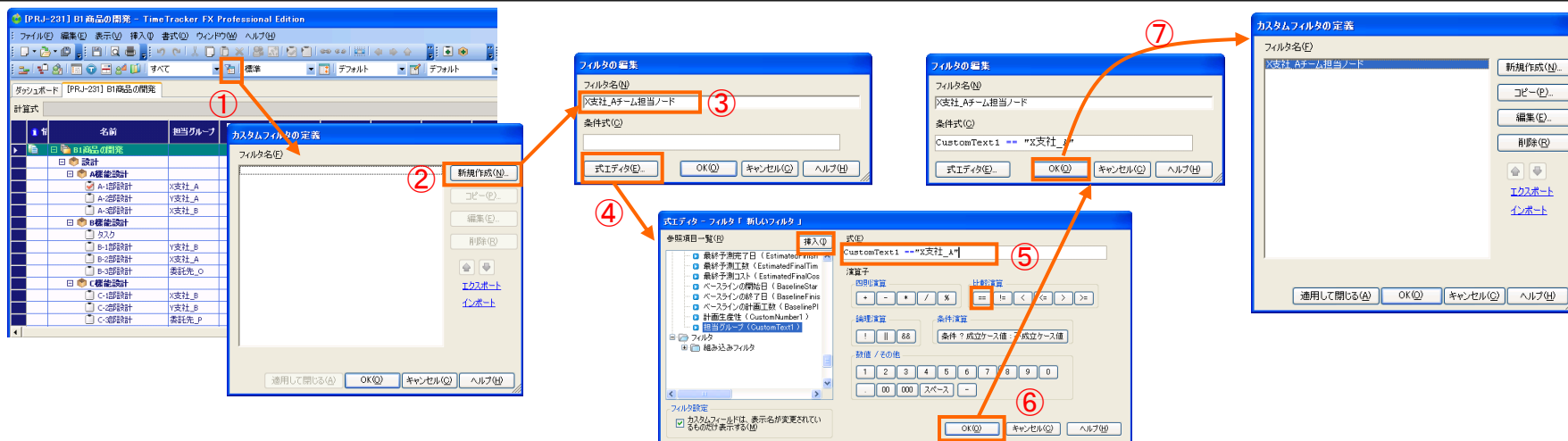
基本操作－進捗(実績)管理

プランナー 計画テーブルの行(ノード)表示の絞込み①

計画テーブルの行(ノード)の表示を、条件に応じて絞込む『組み込みフィルタ』として提供しています。
設定詳細は**Standard Edition**を参照願います。**Professional Edition**では、さらにユーザーが独自にフィルタをカスタマイズできます。

カスタムフィルタの設定方法

ここでは、本誌『プランナー カスタムフィールドの利用法④』の活用例①を例とし、カスタムフィルタを設定する方法を説明します。
活用例①では、フィールドに[担当グループ]を追加して、[担当グループ]毎の進捗確認が出来るように、絞込みが出来るフィルタが設定されています。以下に[担当グループ]="X支社_A"グループを絞込むフィルタを設定します。



1. [表示]ツールバーの[カスタムフィルタの定義]をクリックすると、[カスタムフィルタの定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [新規作成]ボタンをクリックすると、[フィルタの編集]ダイアログがポップアップする(②)
3. [フィルタ名]に設定するフィルタ名称を記入する(③)
4. [式エディタ]ボタンをクリックすると、[式エディタ]ダイアログがポップアップする(④)
5. [参照項目一覧]からフィルタの対象フィールドを選択し[挿入]し、演算子からは条件式をクリックし、[式]内に条件式を作成し、[OK]をクリックする(⑤、⑥)
6. [フィルタの編集]ダイアログの[OK]をクリックすると、作成したフィルタは[カスタムフィルタの定義]として登録される(⑦)

プランナー 計画テーブルの行(ノード)表示の絞込み②

カスタムフィルタの使用方法

定義したカスタムフィルタを使用して、フィルタリングする方法を説明します

The screenshot shows the TimeTracker FX Professional Edition interface. On the left, a task list is displayed with a filter dropdown menu. On the right, the 'カスタムフィルタの定義' (Custom Filter Definition) dialog box is open, showing a list of filters with 'X支社_Aチーム担当ノード' selected. The '適用して閉じる(A)' (Apply and Close) button is highlighted. Below the dialog, the main task list is shown with the filter applied, displaying only tasks related to 'X支社_Aチーム'.

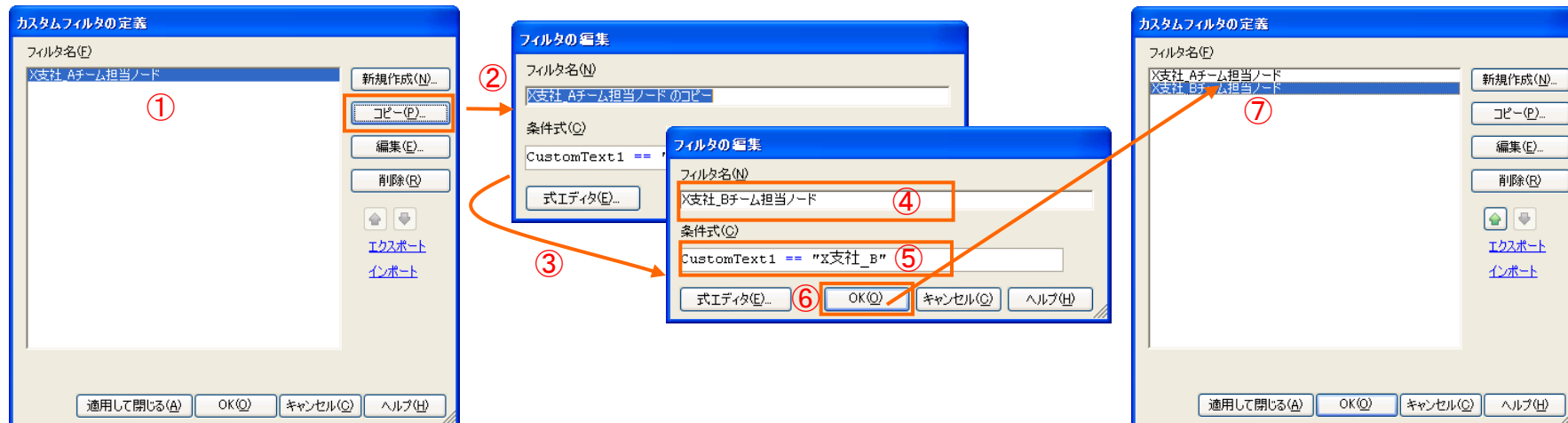
名前	担当グループ	開始日	終了日	計画工数	実績工数	進捗率
B1商品の開発		2006/09/15	2006/11/30	620	0.00	0.00%
設計		2006/11/01	2006/11/30	570	0.00	0.00%
A機能設計	X支社_A	2006/11/01	2006/11/30	0	0.00	66.70%
B機能設計	X支社_A	2006/11/01	2006/11/10	0	0.00	100.00%
B-1部属設計	X支社_A	2006/11/01	2006/11/30	210	0.00	0.00%
B-2部属設計	X支社_A	2006/11/01	2006/11/30	60	0.00	0.00%

1. 方法1 [カスタムフィルタの定義]ダイアログで、使用するフィルタを選択し[適用して閉じる]をクリックする(①、②)
2. 方法2 [表示]ツールバーの[フィルタ]のダウリストから使用するフィルタを選択しクリックする(③、④)

プランナー 計画テーブルの行(ノード)表示の絞込み③

カスタムフィルタのコピー

カスタムフィルタのコピーは、既存のフィルタをベースに、新しいフィルタを作成する時に便利です。ここでは、[進捗管理]のテーブル定義をコピーし利用する方法を説明します。

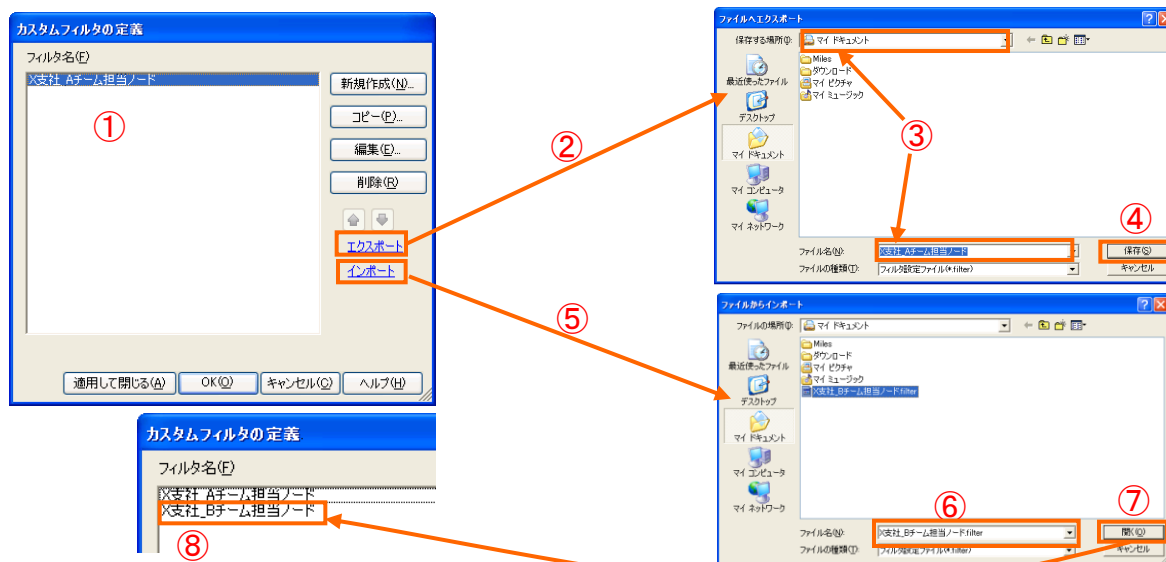


1. [表示]ツールバーの[カスタムフィルタの定義]をクリックすると、[カスタムフィルタの定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [カスタムフィルタの定義]ダイアログで、コピーする[フィルタ名]を選択し [コピー]ボタンをクリックすると、[フィルタの編集]ダイアログがポップアップする(②)
3. コピーした[フィルタの編集]ダイアログの、[フィルタ名]および[条件式]を編集する(③、④、⑤)
4. 編集した[フィルタの編集]ダイアログの[OK]ボタンをクリックすると、[カスタムフィルタの定義]ダイアログの[フィルタ名]の最下部に登録される(⑥、⑦)

プランナー 計画テーブルの行(ノード)表示の絞込み④

カスタムフィルタのエクスポート・インポート

登録したカスタムフィルタは、他のプロジェクトで再利用が可能です。以下にカスタムフィルタ定義をエクスポートまたはインポートする方法を説明します。



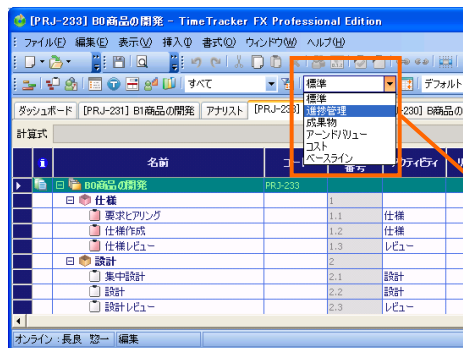
1. エクスポートは、[カスタムフィルタの定義]ダイアログで、エクスポートするフィルタを選択し、[エクスポート]をクリックすると[ファイルへエクスポート]ダイアログがポップアップする(①、②)
2. [ファイルへエクスポート]ダイアログに、場所とファイル名を設定し、[保存]ボタンをクリックする(③、④)
3. インポートは、[カスタムフィルタの定義]ダイアログで、インポートするフィルタを選択し、[インポート]をクリックすると[ファイルのインポート]ダイアログがポップアップする(⑤)
4. [ファイルのインポート]ダイアログで、インポートするフィルターファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすると、[カスタムフィルタの定義]に追加登録される(⑥、⑦、⑧)

プランナー 計画テーブルのテーブル切り替え①

Professional Editionの初期状態では、6種類のテーブル定義が提供されており、目的に応じて使い分けることができます。各テーブル定義は、ユーザーによる変更・削除が可能です。また、ユーザーは独自のテーブル定義を新規作成する事も可能です。

初期状態のテーブルの定義と利用方法

初期状態では、『標準』、『進捗管理』、『成果物』、『アーンドバリュー』、『コスト』、『ベースライン』の6種類が定義されています。以下に、テーブルの切り替え方法を示します。



名前	アウトライン番号	開始日	終了日	計画工数	実績工数	計画進捗率	進捗率	スケジュール指標	工数指標	コスト指標
80商品の開発		2006/10/18	2007/01/31	80	0.00	0.00%	0.00%	0	0	0
仕様										
要求とアラング	1	2006/10/18	2006/11/30	50	0.00	0.00%	0.00%	0	0	0
仕様作成	1.1	2006/10/18	2006/11/30	10	0.00	0.00%	0.00%	0	0	0
仕様レビュー	1.2	2006/10/18	2006/11/30	30	0.00	0.00%	0.00%	0	0	0
集中設計	2									
設計	2.1									
設計レビュー	2.2									
設計レビュー	2.3									

1. [表示]メニューの[テーブル]または[表示]ツールバーの[テーブル]をから目的のテーブル定義を選択し、クリックする(①)
2. フィールドは選択したテーブル定義に変化する(②)

プランナー 計画テーブルのテーブル切り替え②

テーブルの定義の編集

テーブルの定義を編集する方法の説明として、『標準』テーブルに[計画成果物]フィールドを追加する例を示します。

The sequence of screenshots shows the process of adding a field to a table. The first screenshot shows the main application window with the 'Table Definition' button highlighted. The second screenshot shows the 'Table Definition' dialog box with '標準' (Standard) selected. The third screenshot shows the 'Table Edit' dialog box with '計画成果物' (Planning Results) checked. The fourth screenshot shows the final 'Table Definition' dialog box with the updated table structure, including the '計画成果物' field.

名前	コード	アウトライン番号	アクティビティ
日 仕事		1	
要求ヒアリング		1.1	仕様
仕様作成		1.2	仕様
仕様レビュー		1.3	レビュー
日 設計		2	
集中設計		2.1	設計
設計		2.2	設計
設計レビュー		2.3	レビュー

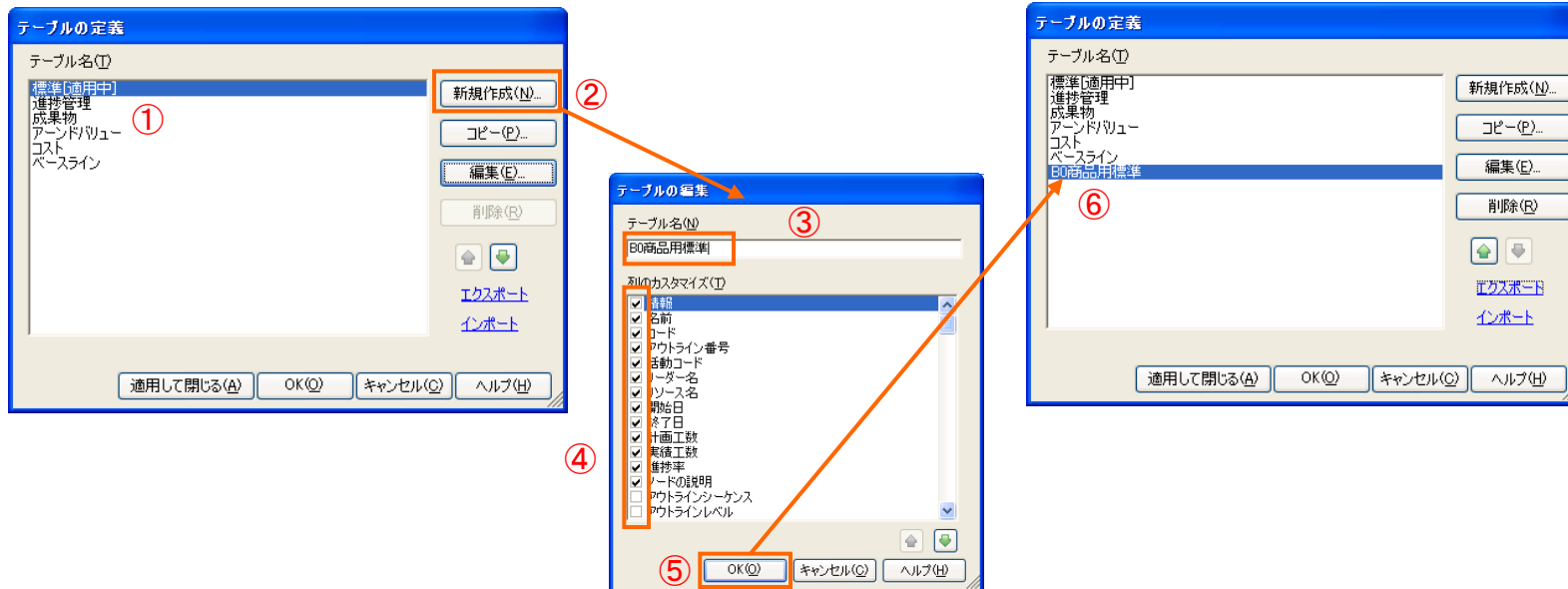
進捗率	ノードの説明	計画成果量
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0
0.00%		0

1. [表示]ツールバーの[テーブルの定義]のクリックすると、[テーブルの定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [テーブルの定義]ダイアログの編集対象テーブル名を選択し、[編集]ボタンをクリックすると、[テーブルの編集]ダイアログがポップアップする(②、③)
3. [テーブルの編集]ダイアログで追加するフィールドをチェックし、[OK]をクリックする(④、⑤)
4. [テーブルの定義]ダイアログの[適用して閉じる]をクリックすると、計画テーブルの最右端にフィールド追加される(⑥、⑦)

プランナー 計画テーブルのテーブル切り替え③

テーブルの定義の新規作成

ユーザーが独自のテーブル定義を新規作成する例を示します。

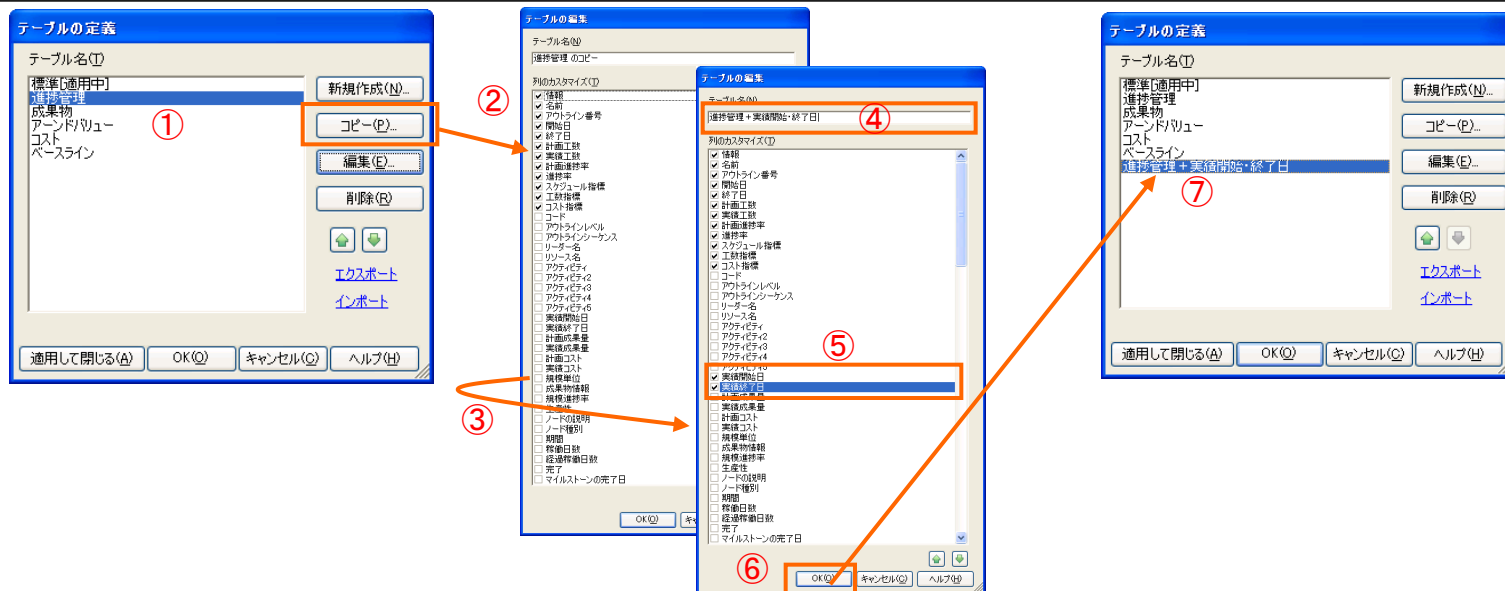


1. [表示]ツールバーの[テーブルの定義]をクリックすると、[テーブルの定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [テーブルの定義]ダイアログの [新規作成]ボタンをクリックすると、[テーブルの編集]ダイアログがポップアップする(②)
3. [テーブルの編集]ダイアログで[テーブル名] を記入し、表示するフィールドをチェックし、[OK]をクリックする(③、④、⑤)
4. [テーブルの定義]ダイアログの[テーブル名]の最下部に登録される(⑥)

プランナー 計画テーブルのテーブル切り替え④

テーブルの定義のコピー

テーブル定義のコピーは、既存のテーブル定義をベースに、新しいテーブル定義を作成する時に便利です。ここでは、[進捗管理]のテーブル定義をコピーし流用する例を示します。

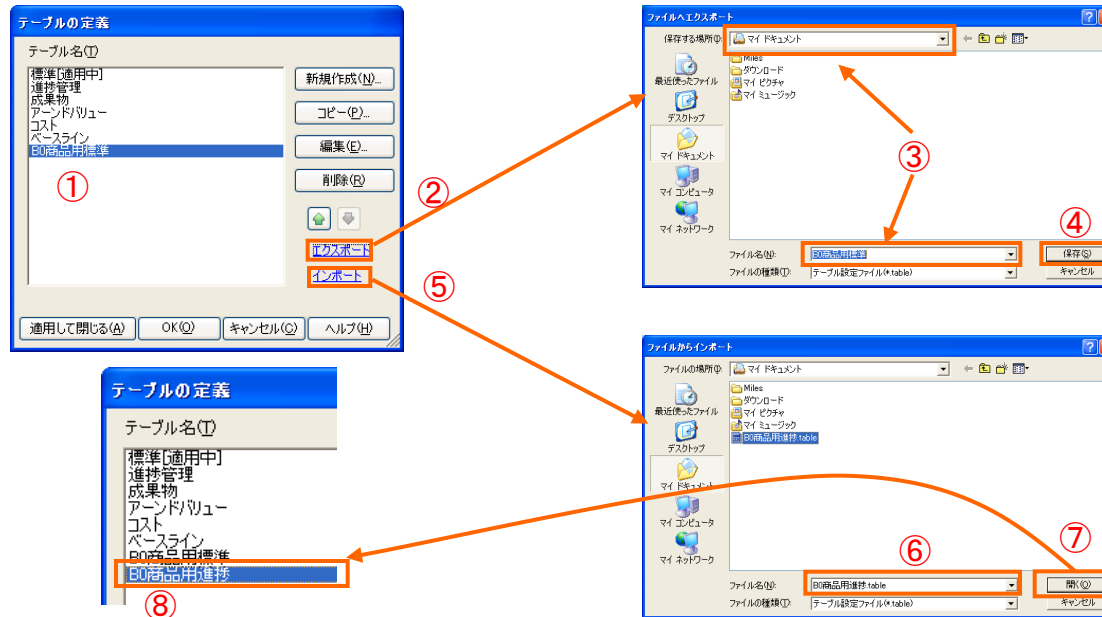


1. [表示]ツールバーの[テーブルの定義]をクリックすると、[テーブルの定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [テーブルの定義]ダイアログで、コピーする[テーブル名]を選択し [コピー]ボタンをクリックすると、[テーブルの編集]ダイアログがポップアップする(②)
3. コピーした[テーブルの編集]ダイアログの、[テーブル名]及び[列のカスタマイズ]を編集する(③、④、⑤)
4. 編集した[テーブルの編集]ダイアログの[OK]ボタンをクリックすると、[テーブルの定義]ダイアログの[テーブル名]の最下部に登録される(⑥、⑦)

プランナー 計画テーブルのテーブル切り替え⑤

テーブルの定義のエクスポート・インポート

登録したテーブル定義は、他のプロジェクトで再利用する事が可能です。以下にテーブル定義をファイルにエクスポートまたはインポートする方法を説明します。



1. エクスポートは、[テーブルの定義]ダイアログで、エクスポートするテーブル定義を選択し、[エクスポート]をクリックすると[ファイルへエクスポート]ダイアログがポップアップする(①、②)
2. [ファイルへエクスポート]ダイアログに、場所とファイル名を設定し、[保存] ボタンをクリックする(③、④)
3. インポートは、[テーブルの定義]ダイアログで、インポートするテーブル定義を選択し、[インポート]をクリックすると[ファイルのインポート]ダイアログがポップアップする(⑤)
4. [ファイルのインポート]ダイアログで、インポートするテーブル定義を選択し、[開く]ボタンをクリックすると、[テーブルの定義]に追加登録される(⑥、⑦、⑧)



テーブル定義以外に再利用可能な設定を、同時にインポートしたい場合は、本誌『プランナー プロジェクト設定のインポート』をご覧ください。

プランナー 計画テーブルのガントテーブル書式の切り替え①

Professional Editionの初期状態では、4種類のガントテーブル書式の定義が提供されており、目的に応じて使い分けることができます。各ガントテーブル書式の定義は、変更・削除が可能です。また、ユーザーが独自のガントテーブル書式の定義を新規作成することも可能です。

初期状態のテーブル書式の定義と使用方法

初期状態では、『デフォルト』、『工数超過』、『計画遅れ』、『ベースライン比較』の4種類が定義されています。ここでは、ガントテーブル書式の切り替え方法を示します。

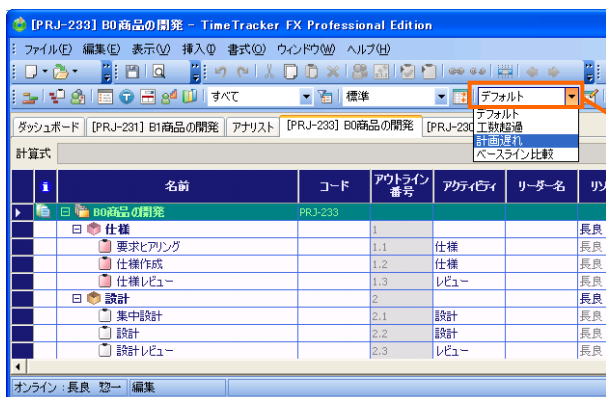


Figure 1: Initial Gantt table format. The table displays project tasks and resources.

名前	コード	アウトライン番号	アクティビティ	リーダー名	リソース
80商品の開発	PRJ-233				
日 仕様		1			長良
要求ヒアリング		1.1	仕様		長良
仕様作成		1.2	仕様		長良
仕様レビュー		1.3	レビュー		長良
日 設計		2			長良
集中設計		2.1	設計		長良
設計		2.2	設計		長良
設計レビュー		2.3	レビュー		長良



Figure 2: Gantt table format after switching to '計画遅れ' (Schedule Delay). The table displays project tasks and resources with additional columns for start and end dates, planned and actual work hours, and progress rate.

名前	コード	アウトライン番号	活動コード	リーダー名	リソース名	開始日	終了日	計画工数	実績工数	進捗率
80商品の開発	PRJ-233									
日 仕様		1			長良 惣一	2006/08/21	2006/12/01	50	0.00	0.00%
要求ヒアリング		1.1	仕様		長良 惣一	2006/08/21	2006/09/30	10	0.00	0.00%
仕様作成		1.2	仕様		長良 惣一	2006/08/21	2006/09/30	30	0.00	0.00%
仕様レビュー		1.3	レビュー		長良 惣一	2006/08/21	2006/09/30	10	0.00	0.00%
日 設計		2			長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	30	0.00	0.00%
集中設計		2.1	設計		長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	10	0.00	0.00%
設計		2.2	設計		長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	10	0.00	0.00%
設計レビュー		2.3	レビュー		長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	10	0.00	0.00%

1. [表示]ツールバーの[ガントテーブル書式]をから目的のテーブル書式定義を選択し、クリックする(①)
2. 計画テーブルは選択したガントテーブル書式定義で表示される(②)

プランナー 計画テーブルのガントテーブル書式の切り替え②

テーブル書式の定義の編集① ～編集・編集結果の適用までの一連操作～

『工数超過』のガントテーブル書式定義に、実績工数が計画工数の1.5倍になったら列全体を赤くする定義を追加する例を示します。

① [表示] ツールバーの[ガントテーブル書式の定義]をクリックすると、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログがポップアップする

② [ガントテーブル書式の定義]ダイアログの編集するガントテーブル書式名を選択し、[編集]ボタンをクリックすると、[ガントテーブル書式の編集]ダイアログがポップアップする

③ [ガントテーブル書式の編集]ダイアログの[新規作成]ボタンをクリックし、定義を設定する条件列を追加し、条件を設定する

④ 設定が完了したら、[ガントテーブル書式の編集]ダイアログの[OK]ボタンクリックで、設定が登録される

⑤ 登録された設定を適用するには、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログの[適用して閉じる]ボタンをクリックする

条件の設定詳細は、次ページを参照

名前	コード	アウトライン番号	活動コード	リーダー名	リソース名	開始日	終了日	計画工数	実績工数
BO商品の開発	PRJ-233					2006/08/21	2006/12/01	80	57.00
仕様		1			長良 惣一	2006/08/21	2006/09/30	50	33.00
要求ヒアリング		1.1	仕様		長良 惣一	2006/08/21	2006/09/30	10	16.00
仕様作成		1.2	仕様		長良 惣一	2006/08/21	2006/09/30	30	14.00
仕様レビュー		1.3	レビュー		長良 惣一	2006/08/21	2006/09/30	10	3.00
設計		2			長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	30	24.00
集中設計		2.1	設計		長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	10	7.00
設計		2.2	設計		長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	10	17.00
設計レビュー		2.3	レビュー		長良 惣一	2006/10/01	2006/12/01	10	0.00

1. [表示] ツールバーの[ガントテーブル書式の定義]をクリックすると、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログがポップアップする
2. [ガントテーブル書式の定義]ダイアログの編集するガントテーブル書式名を選択し、[編集]ボタンをクリックすると、[ガントテーブル書式の編集]ダイアログがポップアップする
3. [ガントテーブル書式の編集]ダイアログの[新規作成]ボタンをクリックし、定義を設定する条件列を追加し、条件を設定する
4. 設定が完了したら、[ガントテーブル書式の編集]ダイアログの[OK]ボタンクリックで、設定が登録される
5. 登録された設定を適用するには、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログの[適用して閉じる]ボタンをクリックする

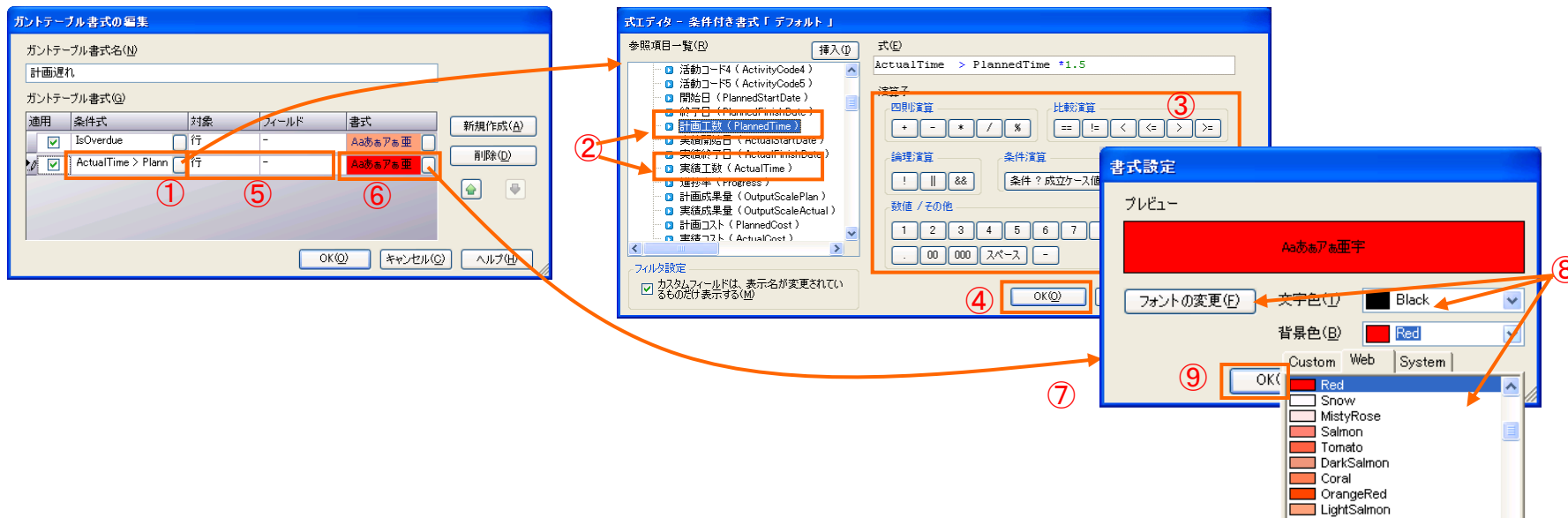


上記の例は、工数超過の定義が追加した定義より、条件の順序が上のためタスク[要求ヒアリング]が赤く表示されません。

プランナー 計画テーブルのガントテーブル書式の切り替え③

テーブル書式の定義の編集② ～編集操作の詳細～

[ガントテーブル書式の編集]ダイアログ内のガントテーブル書式の設定方法を前項の例の条件を使って示します。



1. [条件式]の設定は、[ガントテーブル書式の編集]ダイアログの[条件式]の[式エディタ] 起動用ボタンをクリックすると、ダイアログがポップアップする(①)
2. [式エディタ]ダイアログでは、条件に従い[参照項目一覧]から[実績工数]及び[計画工数]を選択し[挿入]ボタンにて[式]に挿入し、演算子は各演算ボタン押下にて[式]に挿入し[OK]をクリックする(②、③、④)
3. [対象]及び[フィールド]は、書式設定が有効な範囲を設定し、この例では、ノードの列全体のため、[対象]を[行]に設定する(⑤)
4. [書式]の設定は、[ガントテーブル書式の編集]ダイアログの[書式]の[書式設定]機能ボタンをクリックすると、[書式設定]ダイアログがポップアップする(⑥、⑦)
5. [書式設定]ダイアログでは、対象の[フォント]、[文字色]、[背景色]をダイアログ及びダウリストから選択及び設定し、[OK]をクリックする(⑧、⑨)

プランナー 計画テーブルのガントテーブル書式の切り替え④

テーブル書式定義の新規作成

ユーザーが独自のガントテーブル書式定義を新規作成する例を示します。

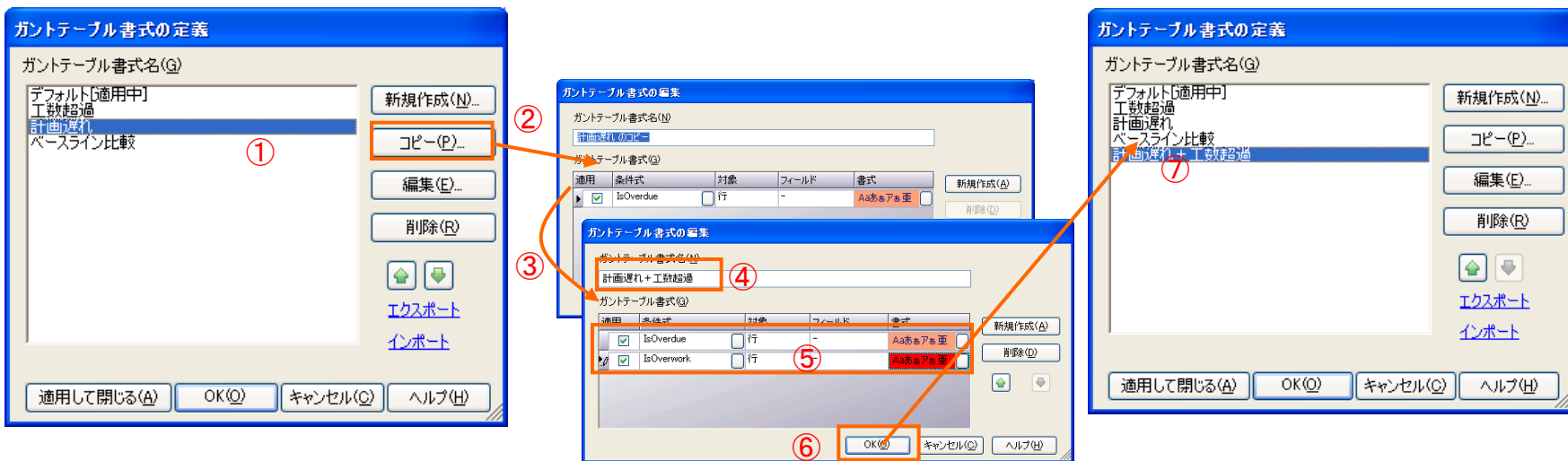


1. [表示]ツールバーの[ガントテーブル書式定義]をクリックすると、[ガントテーブル書式定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [ガントテーブル書式の定義]ダイアログの[新規作成]ボタンをクリックすると、新規の[ガントテーブル書式の編集]ダイアログがポップアップする(②)
3. 新規の[ガントテーブル書式の編集]ダイアログに、[ガントテーブル書式名] 及び[ガントテーブル書式]を設定する(③、④、⑤)
4. 編集した[ガントテーブル書式の編集]ダイアログの [OK]ボタンをクリックすると、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログの[ガントテーブル書式名]の最下部に登録される(⑥、⑦)

プランナー 計画テーブルのガントテーブル書式の切り替え⑤

テーブル書式のコピー

テーブル書式のコピーは、既存のガントテーブル書式をベースに、新しいテーブル書式を作成する時に便利です。ここでは、[計画遅れ]のテーブル書式をコピーし使用する例を示します。



1. [表示]ツールバーの[ガントテーブル書式の定義]をクリックすると、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [ガントテーブル書式の定義]ダイアログのコピーする[ガントテーブル書式名]を選択し、[コピー]ボタンをクリックすると、コピーの[ガントテーブル書式の編集]ダイアログがポップアップする(②)
3. コピーの[ガントテーブル書式の編集]ダイアログに、[ガントテーブル書式名] 及び[ガントテーブル書式]を設定する(③、④、⑤)
4. 編集した[ガントテーブル書式の編集]ダイアログの [OK]ボタンをクリックすると、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログの[ガントテーブル書式名]の最下部に登録される(⑥、⑦)

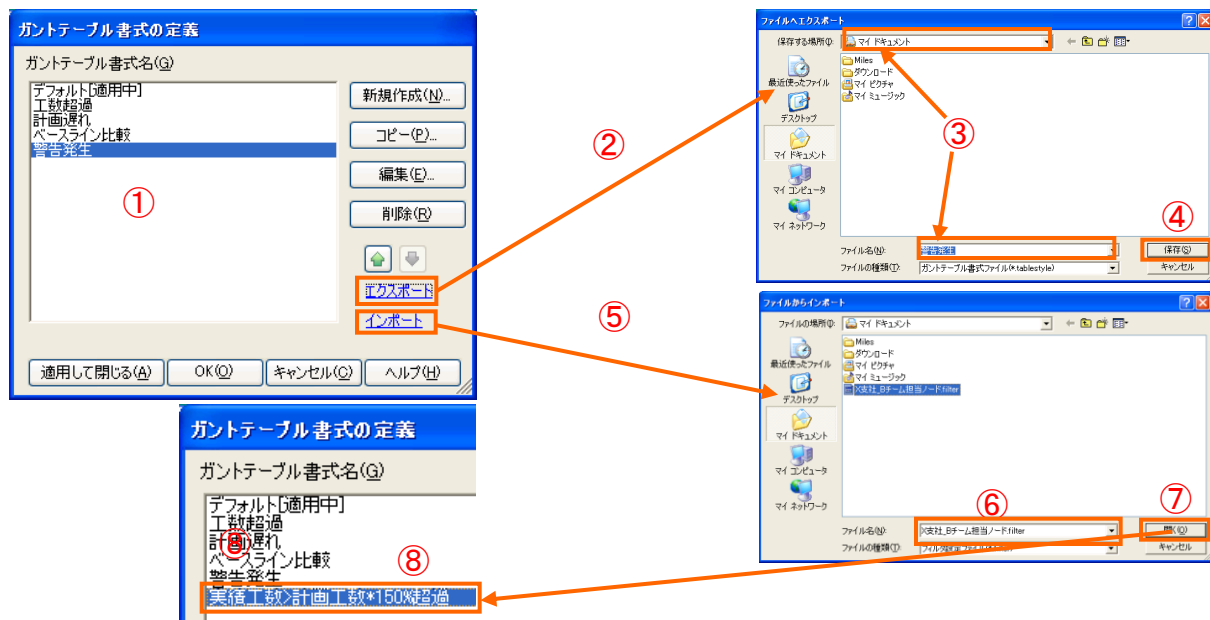


テーブル書式は、同一のテーブル書式名でも、別のテーブルとして扱うため、新しいテーブル書式作成時にはテーブル書式名をユニークにしてください。

プランナー 計画テーブルのガントテーブル書式の切り替え⑥

テーブル書式のエクスポート・インポート

登録したテーブル書式は、他のプロジェクトで再利用する事が可能です。設定の再利用は、工数の節約になりますし、管理指標の均一化につながります。以下にテーブル定義をファイルにエクスポートまたはインポートする方法を説明します。



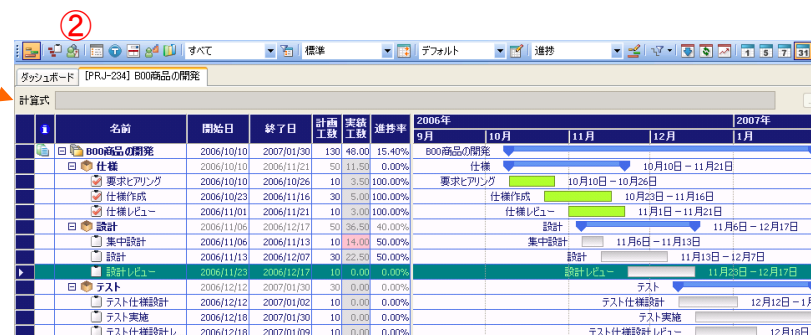
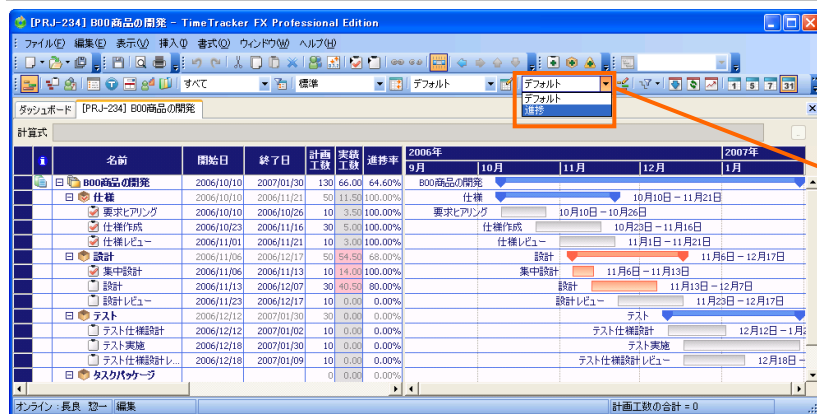
1. エクスポートは、[ガントテーブル書式の定義]ダイアログで、エクスポートするテーブル書式を選択し、[エクスポート]をクリックすると[ファイルへエクスポート]ダイアログがポップアップする(①、②)
2. [ファイルへエクスポート]ダイアログに、場所とファイル名を設定し、[保存]ボタンをクリックする(③、④)
3. インポートは、[テーブルの定義]ダイアログで、インポートするテーブル書式を選択し、[インポート]をクリックすると[ファイルのインポート]ダイアログがポップアップする(⑤)
4. [ファイルのインポート]ダイアログで、インポートするテーブル定義を選択し、[開く]ボタンをクリックすると、[ガントテーブル書式の定義]に追加登録される(⑥、⑦、⑧)

プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え①

Professional Editionの初期状態では、2種類のガントチャートのガントバー書式の定義が提供されており、目的に応じて使い分けることが出来ます。各ガントバー書式の定義は、ユーザーによる変更・削除が可能です。また、ユーザーは独自のガントバー書式定義を新規作成する事も可能です。

初期状態のガントバー書式の定義と利用方法

初期状態では、『デフォルト』、『進捗』の2種類が定義されています。ここでは、ガントバー書式の切り替え方法を示します。



1. [表示]ツールバーの[ガントバー書式]をから目的のガントバー書式定義を選択し、クリックする(①)
2. 計画テーブルは選択したガントバー書式定義でガントバー表示される(②)

プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え②

ガントバー書式の編集① ～基本的な編集～

ガントバーは、ユーザーの目的に応じて編集が出来ます。基本的な編集可能項目を説明します。

- ・ガントバーの「名前」、「バーの対象」、[開始日・終了日]の編集が可能です。〈ガントバー書式の編集②参照〉
- ・ガントバーの「形状」、「バー及び周囲の色」の編集が可能です。〈ガントバー書式の編集③参照〉
- ・ガントバーの左右および内側に表示する文字列の編集が可能です。〈ガントバー書式の編集④参照〉
- ・ガントバーの塗りつぶし方の編集が可能です。〈ガントバー書式の編集⑤参照〉

詳細は、次頁より参照願います。

ガントバーの「名前」、「バーの対象」、
[開始日・終了日]の編集が可能
〈ガントバー書式の定義の編集②参照〉

ガントバーの左右および内側に表示する
文字列の編集が可能
〈ガントバー書式の定義の編集④参照〉

設計

11月6日 - 12月17日

ガントバーの「形状」、「バー及び周囲の
色」の編集が可能
〈ガントバー書式の定義の編集③参照〉

ガントバーの塗りつぶし方の編集が可能
〈ガントバー書式の定義の編集⑤参照〉

プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え③

ガントバー書式の編集② ～書式行の追加から設定～

『進捗』のガントバー書式定義に、実績工数が計画工数を超過するとタスクパッケージのガントバーが黄色で表示される定義を追加する例を示します。はじめに追加するガントバーの書式行の追加と書式行の設定を説明します。

① [表示] ツールバーの[ガントバー書式の定義]をクリックすると、[ガントバー書式の定義]ダイアログがポップアップする

② [ガントバー書式の定義]ダイアログの編集する[ガントテーブル書式名]を選択し、[編集]ボタンをクリックすると、[ガントバー 書式の編集]ダイアログがポップアップする

③ 書式行の追加は、[ガントバー書式の編集]ダイアログの書式行の、挿入したい上の行を選択し [行の挿入]ボタンをクリックすると追加される

④ [名前]、[開始日・終了日]は直接入力、[スタイル対象]は、直接入力または[条件式]ボタンをクリックして[式エディタ]で編集する

⑤ [条件式]ボタンをクリックして[式エディタ]で編集する

⑥ [式エディタ]で編集する

⑦ [式エディタ]で編集する

⑧ [式エディタ]で編集する

1. [表示] ツールバーの[ガントバー書式の定義]をクリックすると、[ガントバー書式の定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [ガントバー書式の定義]ダイアログの編集する[ガントテーブル書式名]を選択し、[編集]ボタンをクリックすると、[ガントバー 書式の編集]ダイアログがポップアップする(②、③)
3. 書式行の追加は、[ガントバー書式の編集]ダイアログの書式行の、挿入したい上の行を選択し [行の挿入]ボタンをクリックすると追加される(④、⑤、⑥)
4. [名前]、[開始日・終了日]は直接入力、[スタイル対象]は、直接入力または[条件式]ボタンをクリックして[式エディタ]で編集する(⑦、⑧)

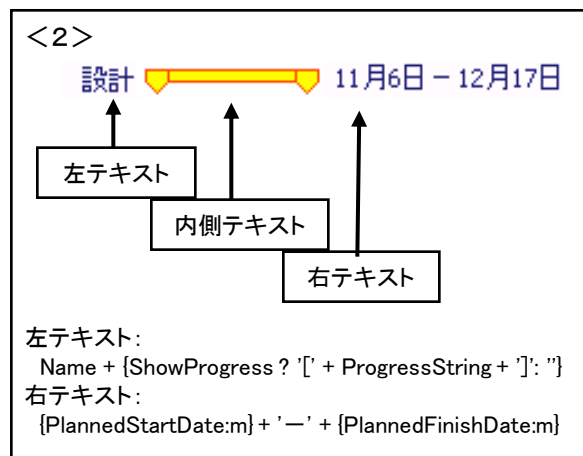
プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え⑤

ガントバー書式の編集④ ～[テキスト]ページの設定～

[テキスト]ページでは、ガントバーの左右および内側に表示する文字列を、ノードフィールドからを選択できます。表示する文字列は、書式を指定したり、条件により表示する文字列を変更したりできます。

ここでは、左テキストにノードの名前、右テキストに開始日・終了日を設定する例を示します。なお、左テキストには、ガントチャートで進捗率表示が有効な場合、進捗率を表示する条件も記載しています。

ガントバーの表示設定をします。ここでは、＜1＞のガントバー の設定例を示します。



TaskPackageOverwork IsTaskPackage && PlannedStartDate PlannedFinish
TaskPackageComplete IsTaskPackage && PlannedStartDate PlannedFinish
Milestone !IsTaskPackage && PlannedStartDate PlannedFinish

行の切り取り (U): 行の貼り付け (P): 行の挿入 (I): 条件式 (E)

表示 テキスト 詳細

左: Name + {ShowProgress ? '[' + ProgressString + ']' : ''} 内側: 右: {PlannedStartDate:m} + ' - ' + {PlannedFinishDate:m}

OK キャンセル ヘルプ (H)

左:
+ ProgressString + ']' : ''
LockStatus
ManagedActualTime
ManagedPlannedTime
Name
OutlineLevel
OutlineNumber
OutlineSequence
OutputInfo

右:
' + {PlannedFinishDate:m}

1. ガントバーのテキストは、[左:]、[内側:]、[右:]ダウリストから選択し設定する(①)
2. 表示する条件文直接入力することも可能(②)

プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え⑥

ガントバー書式の編集⑤ ～[詳細]ページの設定から設定のガントチャートへの反映～

[詳細]ページでは、ガントバーの塗りつぶし方法を設定します。

① パターン

② 前景: Yellow

③ 背景: Transparent

④ カスタム Web システム

⑤ スタイル: Pattern

⑥ スタイル: Pattern

⑦ 階調

⑧ 第1の色: Yellow

⑨ 第2の色: Yellow

⑩ カスタム Web システム

⑪ スタイル: Pattern

⑫ スタイル: Pattern

⑬ OK

⑭ 適用して閉じる(A)

⑮ 適用して閉じる(A)

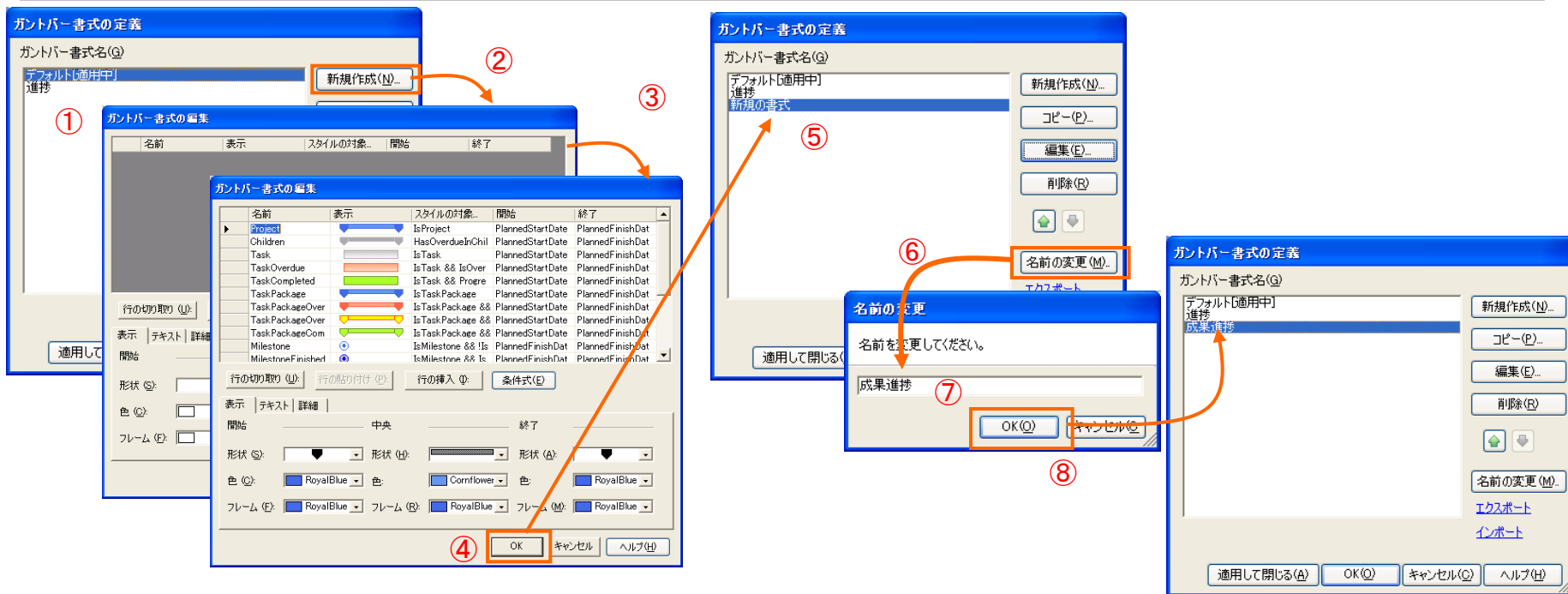
名前	開始日	終了日	計画工数	実績工数	進捗率	2006年	2007年
						10月	11月
B00商品の開発	2006/10/10	2007/01/30	130	66.00	64.60%		
仕様	2006/10/10	2006/11/21	50	11.50	100.00%		
要求ヒアリング	2006/10/10	2006/10/26	10	3.50	100.00%		
仕様作成	2006/10/23	2006/11/16	30	5.00	100.00%		
仕様レビュー	2006/11/01	2006/11/21	10	3.00	100.00%		
設計	2006/11/06	2006/12/17	50	54.50	68.00%		
集中設計	2006/11/06	2006/11/13	10	14.00	100.00%		
設計	2006/11/13	2006/12/07	30	40.50	80.00%		
設計レビュー	2006/11/23	2006/12/17	10	0.00	0.00%		

1. 塗りつぶし方法を[パターン]にする時は、[パターン]のラジオボタンを選択する(①)
2. [前景]、[背景]、[スタイル]は、ダウリストから選択し設定する。(②、③、④、⑤、⑥)
3. 塗りつぶし方法を[階調]にする時は、[階調]のラジオボタンを選択する(⑦)
4. [第1の色]、[第2の色]、[スタイル]は、ダウリストから選択し設定する。(⑧、⑨、⑩、⑪、⑫)
5. 設定が終了したら、[ガントバー書式の編集]の[OK]ボタンをクリックする(⑬)
6. 設定をガントチャートに反映するために、[ガントバー書式の定義]ダイアログの[適用して閉じる]をクリックする(⑭、⑮)

プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え⑦

ガントバー書式の新規作成

ユーザーが独自のガントバー書式定義を新規作成する例を示します。



1. [表示]ツールバーの[ガントバー書式の定義]をクリックすると、[ガントバー書式の定義]ダイアログがポップアップする(①)
2. [ガントバー書式の定義]ダイアログの[新規作成]ボタンをクリックすると、[ガントバー書式の編集]ダイアログがポップアップする(②)
3. ユーザーが新規の設定を作成し、[OK]をクリックする(③、④)
4. [ガントバー書式の定義]ダイアログの[ガントバー書式名]の最下部に[新規の書式]として登録される(⑤)
5. 定義の内容がわかりやすい様に、[ガントバー書式の定義]ダイアログの[名前の変更]をクリックし、ガントバー書式名を変更する(⑥、⑦、⑧)

プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え⑦

ガントバー書式のコピー

ガントバー書式のコピーは、既存のガントバー書式をベースに、新しいガントバー書式を作成する時に便利です。ここでは、[デフォルト]のガントバー書式をコピーし流用する例を示します。



1. [表示]ツールバーの[ガントバー書式の定義]をクリックすると、[ガントバー書式の定義]ダイアログがポップアップする
2. [ガントバー書式の定義]ダイアログのコピーする[ガントバー書式名]を選択し[コピー]ボタンをクリックすると、[ガントバー書式の編集]ダイアログがポップアップする(①)
3. ユーザーがコピーした設定を編集し、[OK]をクリックする(②)
4. [ガントバー書式の定義]ダイアログの[ガントバー書式名]の最下部に[デフォルトのコピー]として登録される(③)
5. 書式の内容がわかりやすい様に、[ガントバー書式の定義]ダイアログの[名前の変更]をクリックし、ガントバー書式名を変更する(④、⑤、⑥、⑦)

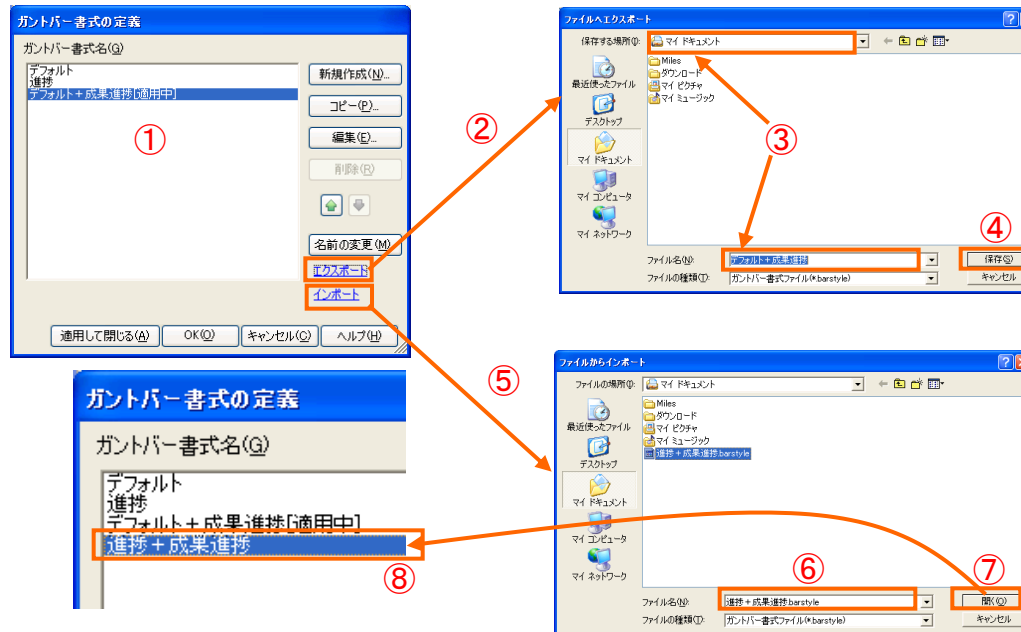


ガントバー書式は、同一のガントバー書式名でも、別のテーブルとして扱うため、新しいテーブル作成時にはテーブル名をユニークにしてください。

プランナー ガントチャートのガントバー書式の切り替え⑧

ガントバー書式のエクスポート・インポート

登録したガントバー書式定義は、他のプロジェクトで再利用する事が可能です。これは、工数の節約になりますし、管理指標の均一化につながります。以下にガントバー書式定義をファイルにエクスポートまたはインポートする方法を説明します。

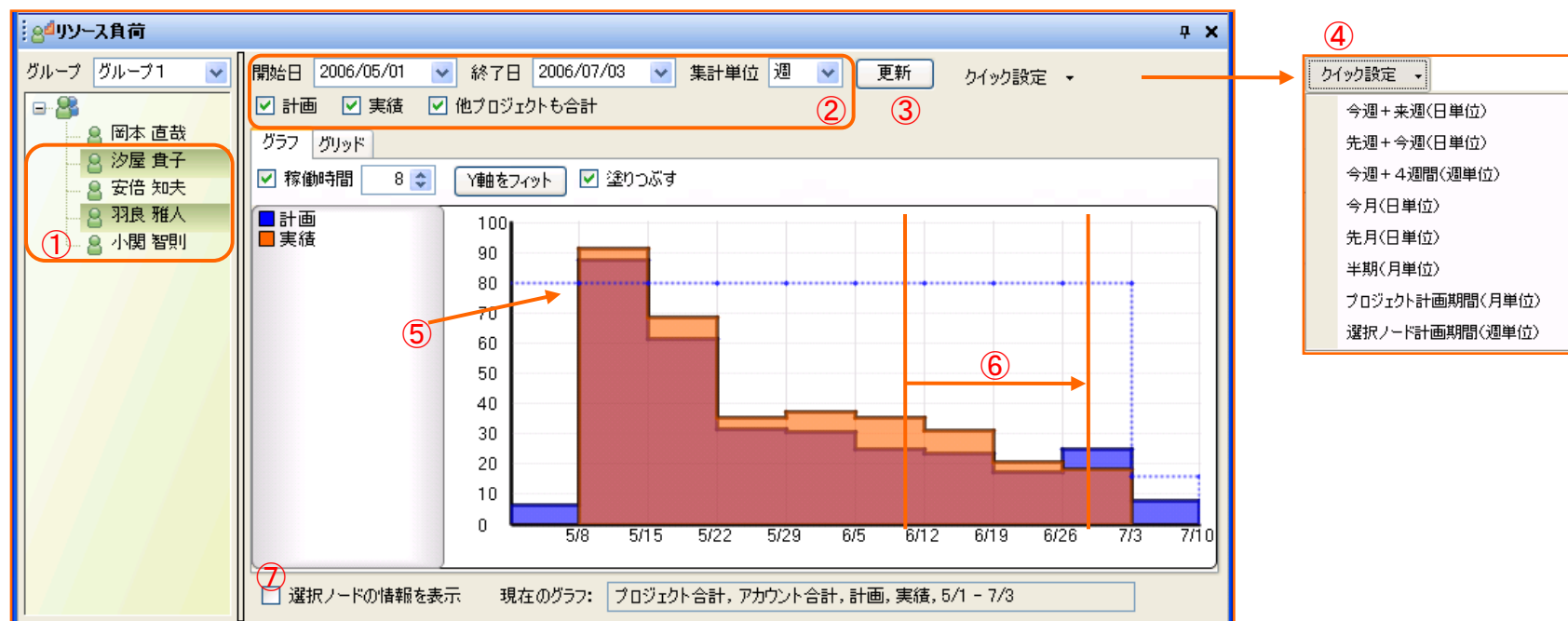


1. エクスポートは、[ガントバー書式の定義]ダイアログで、エクスポートするテーブル定義を選択し、[エクスポート]をクリックすると[ファイルへエクスポート]ダイアログがポップアップする(①、②)
2. [ファイルへエクスポート]ダイアログに、場所とファイル名を設定し、[保存] ボタンをクリックする(③、④)
3. インポートは、[ガントバー書式の定義]ダイアログで、インポートするテーブル定義を選択し、[インポート]をクリックすると[ファイルのインポート]ダイアログがポップアップする(⑤)
4. [ファイルのインポート]ダイアログで、インポートするテーブル定義を選択し、[開く]ボタンをクリックすると、[ガントバー書式の定義]に追加登録される(⑥、⑦、⑧)

プランナー プロジェクトのリソース負荷管理①

リソース負荷グラフの概要

管理対象であるメンバ・組織・役割別に、指定した期間の集計単位で実績工数、および計画工数を確認できます。
選択したプロジェクトの負荷以外に、他プロジェクトを含めた負荷や選択ノードの負荷も確認できます。

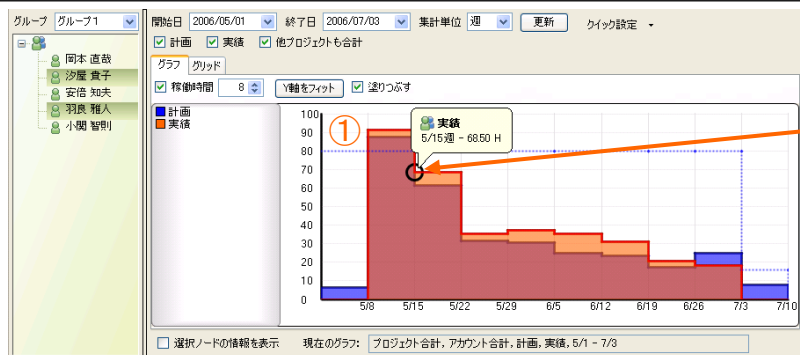


1. メニューから[表示]－[ドッキングウィンドウ]－[リソース負荷]にて、[リソース負荷]ウィンドウを表示する
2. 負荷を確認するメンバを選択 (1)
3. 表示パラメータ(開始日・終了日、集計単位等)を設定して[更新]をクリックする (2、3)
4. よく使う設定はクイック設定を利用 (4)
5. 稼働時間(稼働日考慮)を表示して、残業時間、負荷状況をより正確に把握 (5)
6. マウスで期間を選択すると拡大できる (6)
7. 特定のジョブ、工程のみを閲覧することが出来る (7)

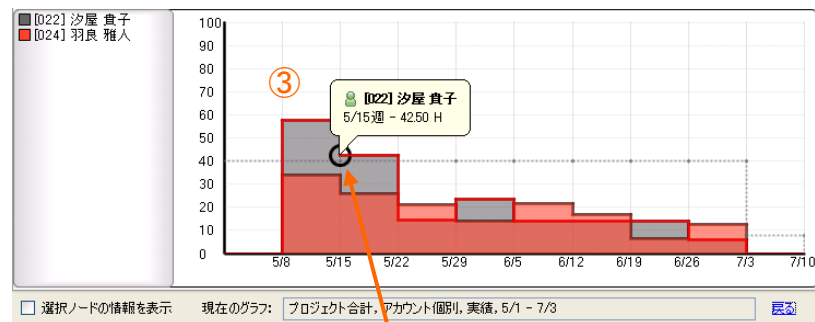
プランナー プロジェクトのリソース負荷管理②

ドリルダウン表示

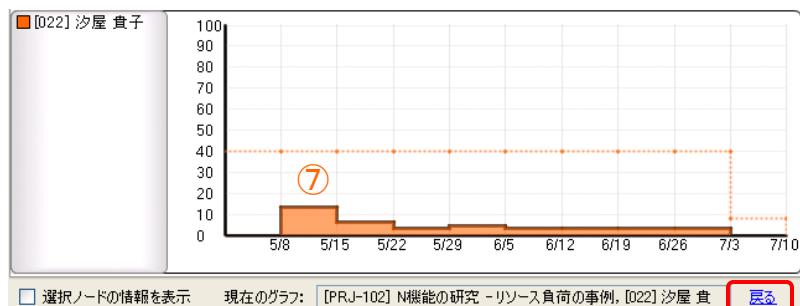
グラフシート上で、表示しているグラフの1つを指定して、そのグラフの負荷データの内訳を表示できます。
この機能によって、問題箇所が簡単に抽出できます。



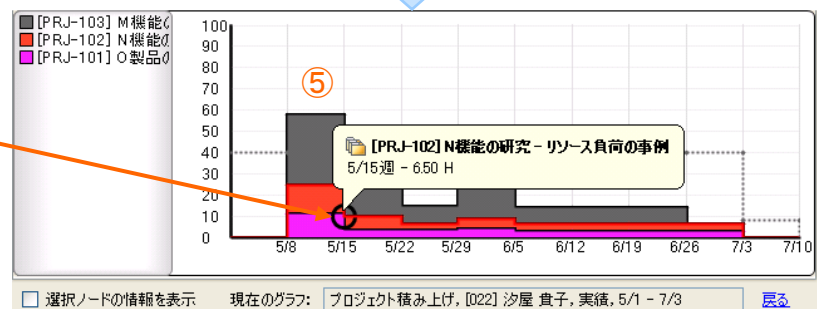
②クリック



④クリック



⑥クリック



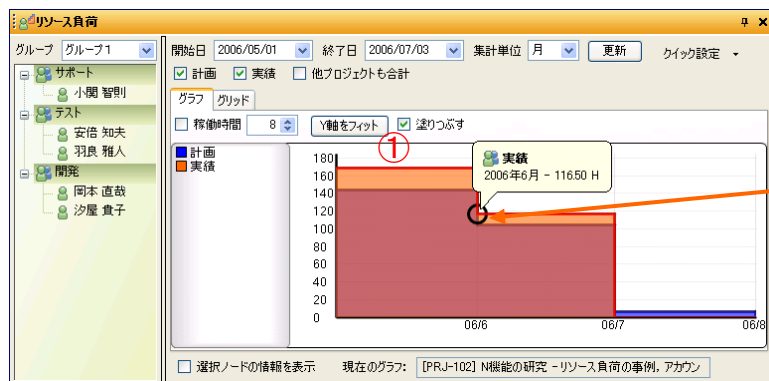
⑧

1. メンバを選択し、選択メンバの負荷を積み上げる (①)
2. ①のグラフの頂点(計画又は実績)をクリックし、メンバ毎の負荷に分割する (②、③)
3. 特定メンバの担当しているプロジェクトの負荷に分割する (④、⑤)
4. 分割した中から特定プロジェクト、特定メンバの負荷を確認 (⑥、⑦)
5. [戻る]をクリックすると、一つ前のグラフに戻る (⑧)

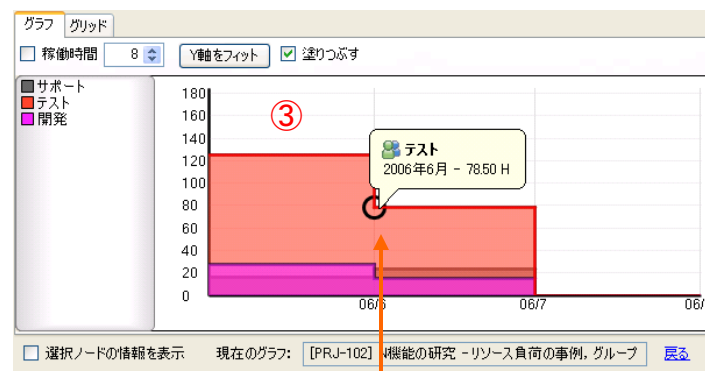
プランナー プロジェクトのリソース負荷管理③

グループ負荷表示

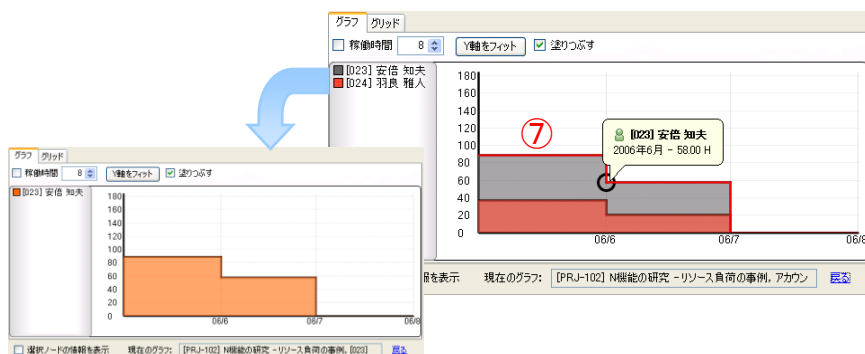
指定したグループの負荷を確認することが出来ます。



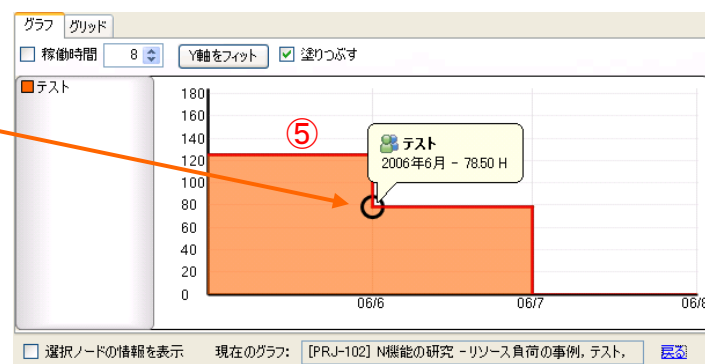
②クリック



④クリック



⑥クリック

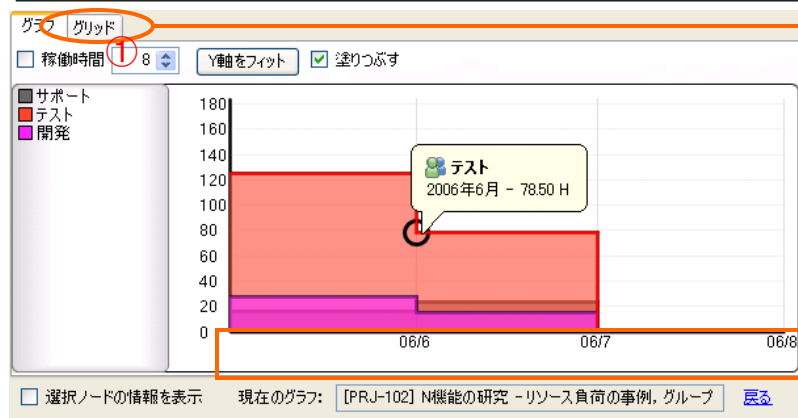


1. 指定した複数のグループの負荷を確認する (①)
2. ①のグラフの頂点(計画または実績)をクリックし、グループ毎の負荷に分割する (②、③)
3. 特定グループの担当しているプロジェクトの負荷に分割する (④、⑤)
4. さらにドリルダウンすることで アカuntごとの負荷、特定アカuntの負荷の順に表示し、解析出来る (⑥、⑦)

プランナー プロジェクトのリソース負荷管理④

グリッド表示

グラフの値を表形式(数値)で確認することができます。表の選択範囲をコピーして表計算ソフトやテキストエディタに貼り付けることができます。



すべて選択 クリップボードにコピー

グラフ名	合計	06/5	06/6	06/7	06/8
サポート	39.00	16.00	23.00	0.00	0.00
テスト	203.50	125.00	78.50	0.00	0.00
開発	42.00	27.00	15.00	0.00	0.00
合計	284.50	168.00	116.50	0.00	0.00

☐ 選択ノードの情報を表示 現在のグラフ: [PRJ-102] N機能の研究 - リソース負荷の事例, グループ [戻る](#)

⑥

	A	B	C	D	E	F	G
1	グラフ名	合計	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	
2	サポート	39	16	23	0	0	
3	テスト	203.5	125	78.5	0	0	
4	開発	42	27	15	0	0	
5							

⑦

ファイル(F)	編集(E)	書式(O)	表示(V)	ヘルプ(H)		
グラフ名		合計	06/5	06/6	06/7	06/8
サポート		39.00	16.00	23.00	0.00	0.00
テスト	203.50	125.00	78.50	0.00	0.00	
開発	42.00	27.00	15.00	0.00	0.00	

③ すべて選択 クリップボードにコピー

④

グラフ名	合計	06/5	06/6	06/7	06/8
サポート	39.00	16.00	23.00	0.00	0.00
テスト	203.50	125.00	78.50	0.00	0.00
開発	42.00	27.00	15.00	0.00	0.00
合計	284.50	168.00	116.50	0.00	0.00

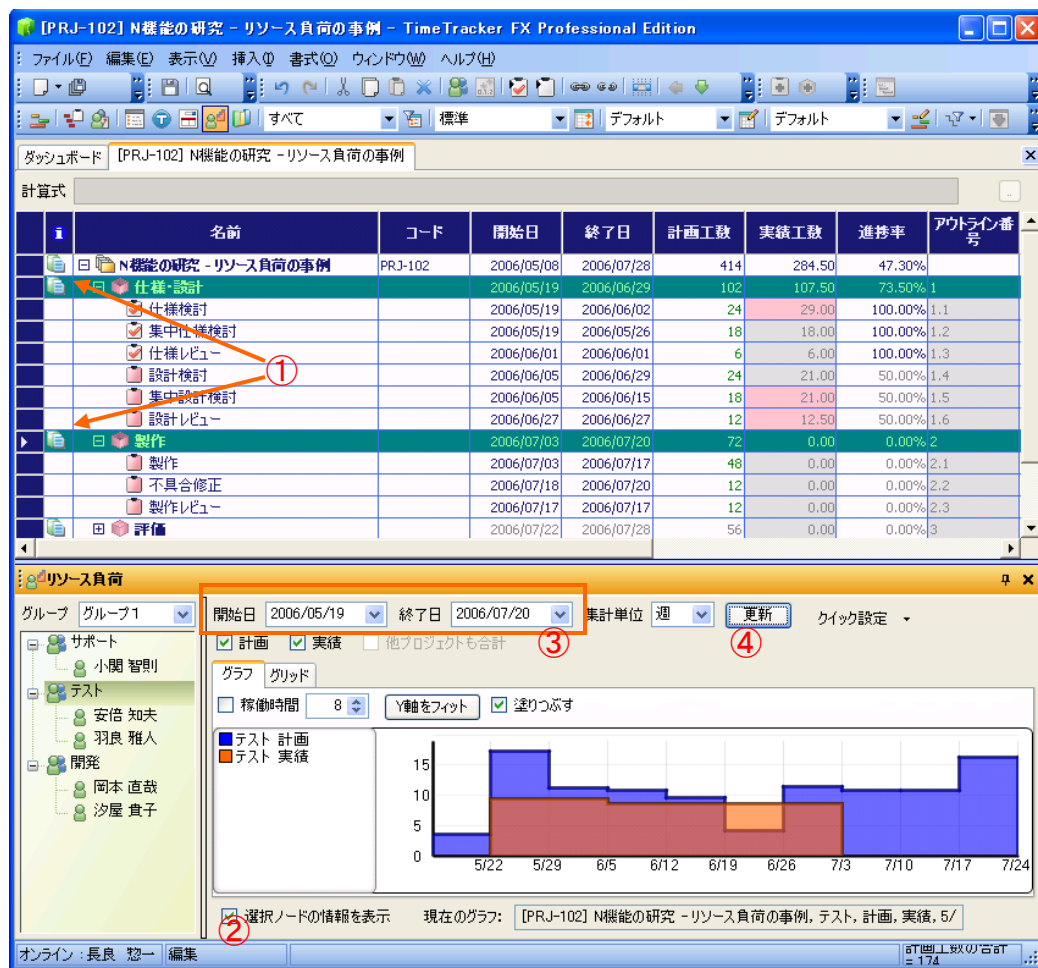
⑤

1. [グリッド]タブをクリック (①)
2. 表示中のグラフを集計単位ごとに数値表示 (②)
3. [すべて選択]を実行し、[クリップボードにコピー]を実行 (③、④)
4. 行／列／セル選択により領域を指定できる ※負荷データの領域のみ対象 (⑤)
5. 表計算ソフトやテキストエディタに貼り付け完成 (⑥、⑦)

プランナー プロジェクトのリソース負荷管理⑤

複数ノード負荷表示

複数ノードの負荷の合計を表示します。負荷は選択ノード以下のノードの積み上げ値となります。



1. 複数ノードを選択する (①)
2. [複数ノードの情報を表示]をチェックする (②)
3. 開始日、終了日が自動設定される
選択ノード以下のノードの計画期間・実績期間の
最小日・最大日となる (③)
4. [更新]を実行 (④)

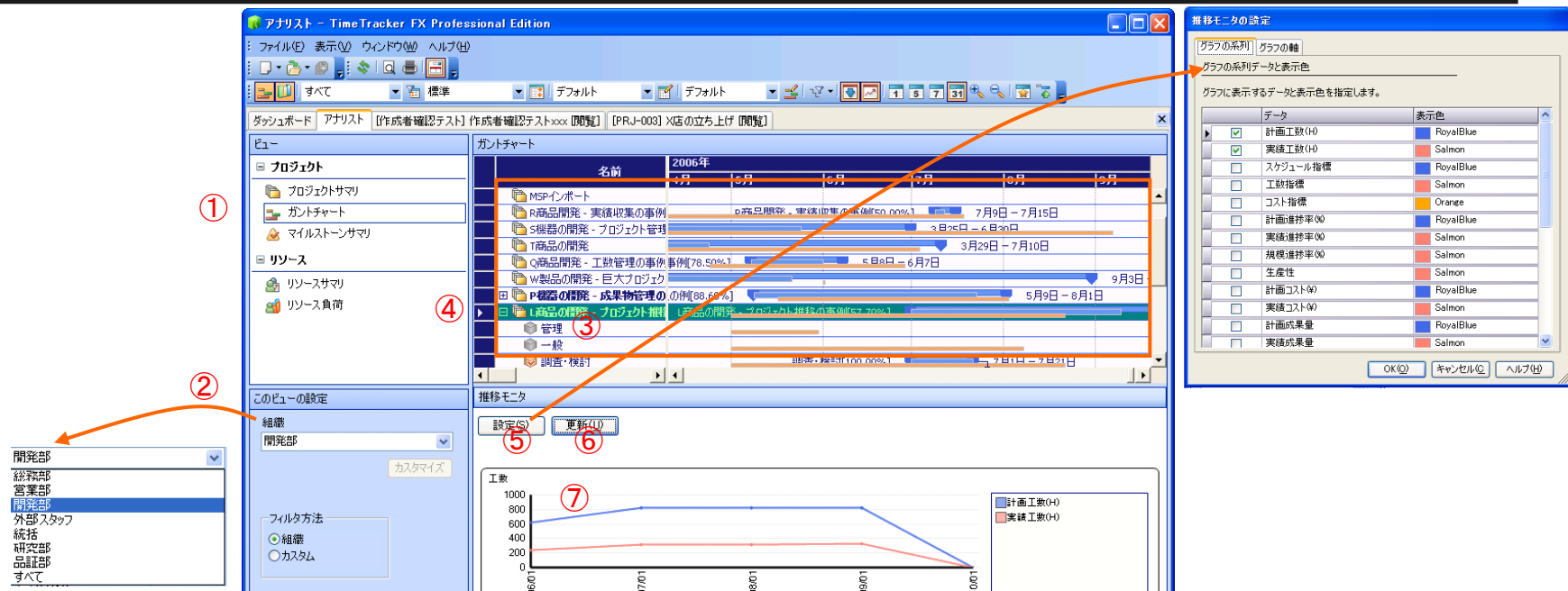
基本操作－ 複数プロジェクト・部門の状況管理

アナリスト 複数プロジェクトのガントチャート表示①

アナリストのガントチャートでは、複数プロジェクトの進捗状況を横断的に確認出来ます。

[組織]毎のプロジェクトを選択しガントチャートを表示する

組織内の複数のプロジェクトの進捗状況をガントチャートで横断的に確認出来ます。
また、詳細なプロジェクトの推移データは、推移モニタで確認出来ます。

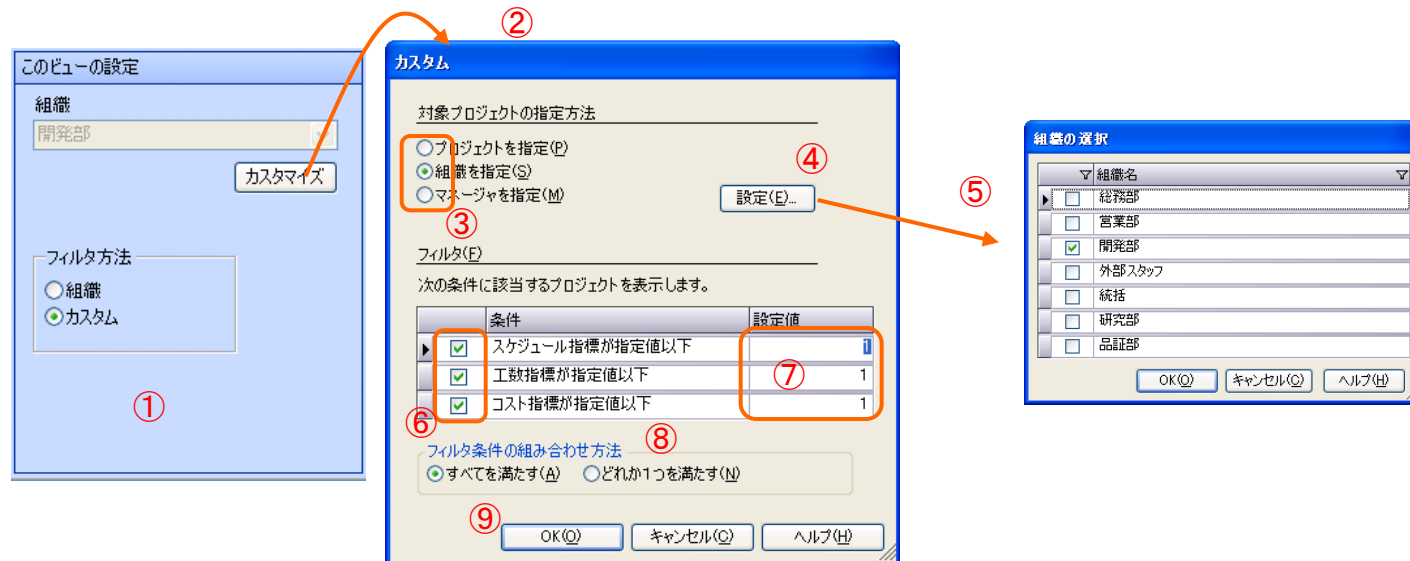


1. [ファイル]-[開く]-[アナリスト]を実行し、[選択]ペインの[ガントチャート]を実行する (①)
2. [設定]ペインの[組織]ドロップダウンリストから選択する (②)
3. [表示]ペインには、選択した[組織]のプロジェクトのみ表示される (③)
4. [ガントチャート]ペインで、確認するプロジェクトを選択し、[推移モニタ]ペインの[設定]ボタンでグラフ化するデータ選択 (表示色も選択可)・表示データ数等を設定する (④、⑤)
5. [更新]ボタンを実行すると、選択したデータの推移が表示される (⑥、⑦)

アナリスト 複数プロジェクトのガントチャート表示②

対象プロジェクト及び表示条件を絞込んでガントチャートを表示する

表示対象(プロジェクト、組織、個人)と表示条件(フィルタ)を絞り込んで、ガントチャート表示する事も出来ます。



1. [設定]ペインの[フィルタ方法]のラジオスイッチを「カスタム」に選択する (①)
2. [設定]ペインの[カスタマイズ]ボタンをクリックすると、[カスタムウィンドウ]がポップアップする (②)
3. ガントチャートの表示対象を絞り込むために、[対象プロジェクトの指定方法]ラジオスイッチを決定し、[設定]ボタンをクリックすると選択した指定方法の選択ダイアログがポップアップする (③、④、⑤)
4. また、ガントチャートの表示条件を設定するために、[フィルタ]の条件を設定する (⑥、⑦)
5. 最後にフィルタの条件の組合せを設定し、[OK]をクリックするとガントチャート表示が実行される(⑧、⑨)

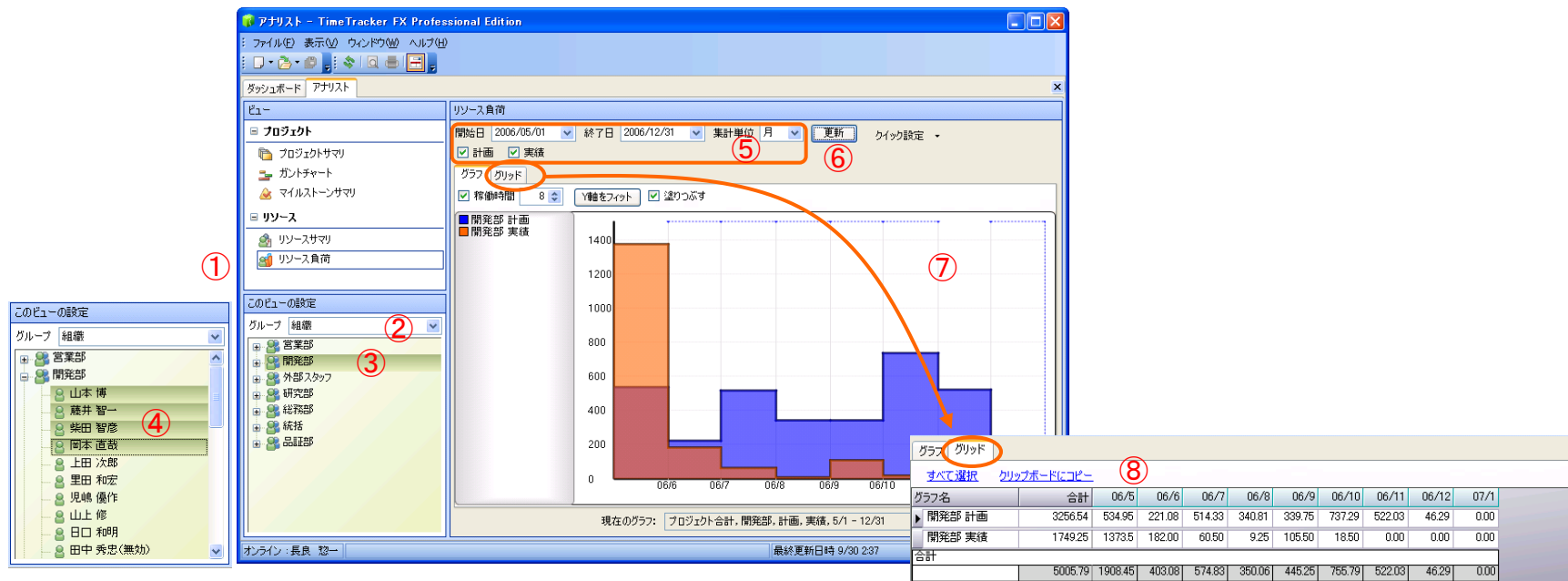
アナリスト アナリストのリソース負荷表示①

アナリストのリソース負荷は、全リソースから集計対象を絞り込んでの負荷状況を閲覧します。

[組織]毎のリソースを選択しリソース負荷を表示

組織全体または組織内の特定メンバの業務負荷状態が確認出来ます。

分析方法(ドリルダウン表示等)、グリッド表示の操作方法は、プランナーのリソース負荷をご覧下さい。

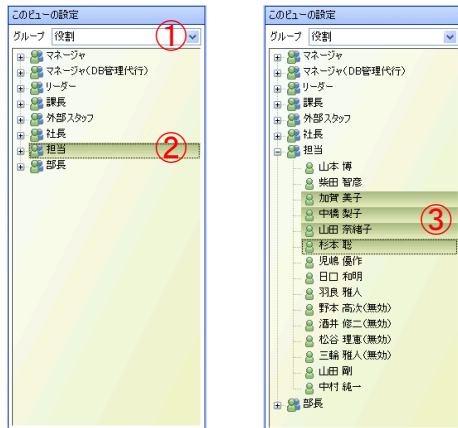


1. [ファイル]-[開く]-[アナリスト]を実行し、[選択]ペインの[リソース負荷]を実行する (①)
2. [設定]ペインの[グループ]ドロップダウンリストから[組織]を選択する (②)
3. 負荷状態を確認したい、部署もしくはする部署内のメンバを選択する (③、④)
4. 表示パラメータ(開始日・終了日、集計単位等)を設定して[更新]をクリックする (⑤、⑥)
5. グリッドタブをクリックと、表示中のグラフを集計単位ごとに数値表示する (⑦、⑧)

アナリスト アナリストのリソース負荷表示②

[役割]毎のリソースを選択しリソース負荷を表示

役割全体または役割内の特定のメンバの業務負荷状態が確認出来ます。



1. [ファイル]-[開く]-[アナリスト]を実行し、[選択]ペインの[リソース負荷]を実行する
2. [設定]ペインの[グループ]ドロップダウンリストから[役割]を選択する(①)
3. 負荷状態を表示させる役割全体または役割内のメンバが選択可能(②、③)

全リソースから特定のメンバのリソース負荷を表示

全リソースから特定の1人以上のリソース負荷状態を確認出来ます。



1. [ファイル]-[開く]-[アナリスト]を実行し、[選択]ペインの[リソース負荷]を実行する
2. [設定]ペインの[グループ]ドロップダウンリストから[なし]を選択する(①)
3. 負荷状態を表示させる1人以上のメンバを選択する(②)

ダッシュボード プロジェクトモニタ

指定したプロジェクトのスケジュール・工数・コストの指標を一覧で確認できます。
難易度の高いプロジェクトやリスクの高いプロジェクト等、注意しなければならないプロジェクトを監視する時に便利です。

プロジェクトモニタの設定

データ 表示

表示

指標毎に表示するかどうか、また警告アイコンの表示条件を設定できます。

指標	悪すぎる	注意	良すぎる
スケジュール	0.7	0.8	1.2
工数	0.7	0.8	1.2
コスト	0.7	0.8	1.2

プロジェクトモニタの設定

対象プロジェクトの指定方法

☒ プロジェクトを指定 (P)
☐ 組織を指定 (O)
☐ マネージャを指定 (M)

設定

フィルタ

次の条件に該当するプロジェクトを表示します。

条件	設定値
<input checked="" type="checkbox"/> スケジュール指標が指定値以下	1
<input checked="" type="checkbox"/> 工数指標が指定値以下	1
<input checked="" type="checkbox"/> コスト指標が指定値以下	1

フィルタ条件の組み合わせ方法

☐ すべてを満たす (A) ☒ どれか1つを満たす (B)

OK キャンセル ヘルプ

プロジェクトモニタ

コード	プロジェクト	マネージャ	スケジュ	工数	コスト
PRJ-006	W製品の開発	山上 修	0.82	1.00	1.03
PRJ-007	P機器の開発	山上 修	0.89	1.76	1.03
PRJ-101	O製品の試	汐屋 貴子	0.52	0.76	0.74

新しいシート

1. [ページ]エリア内の右クリックでポップアップする[メニュー]ダイアログの[ウィジェットの追加]をクリックすると、[ウィジェットの選択]ダイアログがポップアップする。(①)
2. [ウィジェットの選択]ダイアログで[プロジェクトモニタ]を選択し、[OK]ボタンをクリックすると、[プロジェクトモニタの設定]ダイアログがポップアップする(②)
3. [プロジェクトモニタの設定]ダイアログの[データ]タブを選択して、[対象プロジェクトの指定方法]をラジオスイッチで選択し、[設定]ボタンをクリックすると、指定方法を選択した[選択ダイアログ]がポップアップし、モニタ対象を選択する(③、④)
4. また、表示条件を設定するために、[フィルタ]の条件を設定する(⑤、⑥)
5. [プロジェクトモニタの設定]の[表示]タブを選択して、各指標の表示・非表示、警告アイコンの表示条件を設定する(⑦、⑧)
6. [プロジェクトモニタの設定]を設定し、[OK]ボタンをクリックすると、プロジェクトモニタのグリッドが追加される(⑨)



警告アイコンの表示条件設定に指定した値が、[悪すぎる]<[注意]<[良すぎる]とならない場合は、エラーになります。

ダッシュボード 推移モニタ

Professional Editionでは、「計画工数」「実績工数」以外に多くの推移データが表示可能になりました。

表示するデータを追加する方法



1. 表示するデータの選択・表示色は、メニューバーの[表示データの設定]をクリックすると、[推移モニタの設定]ダイアログがポップアップされる。(①、②)
2. [推移モニタの設定]ダイアログの[グラフの系列]タブを選択し、表示データを選択する「計画工数」「実績工数」以外に以下のデータが表示可能(③)
 - ・スケジュール指標
 - ・工数指標
 - ・コスト指標
 - ・計画進捗率(%)
 - ・実績計画進捗率(%)
 - ・規模進捗率(%)
 - ・生産性
 - ・計画コスト(¥)
 - ・実績コスト(¥)
 - ・計画成果量
 - ・計画獲得工数(H)
 - ・遅れ工数
 - ・遅れコスト
 - ・最終予測遅れ工数(H)
 - ・最終予測遅れコスト(¥)
 - ・最終予測工数(H)
 - ・最終予測コスト(¥)
 - ・遅れ工数
 - ・遅れコスト
3. 表示するデータのチェックボックス・表示色を設定し、表示色を設定する(④)
4. [OK]ボタンをクリックすると、推移モニタのグラフを追加・変更する(⑤)

PRJ-002関連

ダッシュボード その他便利な使い方①

Professional Editionでは、ダッシュボードの編集機能として、ページの「追加」「コピー」「削除」、ウィジェットの他ページへの移動が可能になりました。

ページの「追加」「コピー」「削除」

ページの「追加」「コピー」「削除」の操作方法を示します。

The sequence of operations is as follows:

- ① In the initial dashboard, the user clicks the 'Edit' menu or the right-click context menu on a widget, selecting 'Add Page' (ページの追加).
- ② The user selects 'Copy Page' (ページのコピー) from the context menu.
- ③ A new page is added to the dashboard, labeled '新しいページ' (New Page).
- ④ The user clicks 'Copy Page' again, creating a duplicate of the selected page.
- ⑤ The user clicks 'Delete Page' (ページの削除) from the context menu, removing the selected page.

The screenshots show the 'ダッシュボード' (Dashboard) window with various widgets like '工数入力モニタ' (Man-hour Input Monitor) and 'プロジェクト管理' (Project Management). The '最近使ったプロジェクト' (Recently Used Projects) list includes items like 'B2商品の開発' and 'X店の立ち上げ'.

1. メニューの[編集]または[ページ]エリア内の右クリックでポップアップするメニューで、[ページの追加][ページのコピー][ページの削除]が表示される(①、②)
2. [ページの追加]にて、[新しいページ]が追加される(③)
3. [ページのコピー]を実行したページのコピー(ここでは、[PRJ-002関連のコピー])のページが追加される(④)
4. [ページの削除]を実行したページが削除される(⑤)

ダッシュボード その他便利な使い方②

ウィジェットのおページへの移動

ウィジェットのおページへの移動の操作方法を示します。

The sequence of screenshots illustrates the process of moving a widget between pages:

- Screenshot 1:** The main dashboard window. A red circle highlights the 'Move to other page' icon (a square with a right-pointing arrow) in the top right corner of the 'Work Input Monitor' widget.
- Screenshot 2:** A 'Move Widget' dialog box is displayed. A red circle highlights the 'Move to other page' button.
- Screenshot 3:** The 'Move Widget' dialog box. A red circle highlights the 'Page' dropdown menu, which currently shows 'PRJ-002関連'.
- Screenshot 4:** The 'Move Widget' dialog box. A red circle highlights the 'OK' button.
- Screenshot 5:** The 'Move Widget' dialog box. A red circle highlights the 'PRJ-002関連' option in the 'Page' dropdown menu.
- Screenshot 6:** The 'Work Input Monitor' widget is shown on a new page. A red circle highlights the 'PRJ-002関連' option in the 'Page' dropdown menu.
- Screenshot 7:** The 'Work Input Monitor' widget is shown on a new page. A red circle highlights the '更新' (Update) button in the top right corner.
- Screenshot 8:** The 'Work Input Monitor' widget is shown on a new page. A red circle highlights the '更新' (Update) button in the top right corner.

1. 移動するウィジェットの[他のページに移動]のアイコンをクリックすると、[ウィジェットの移動]ウィンドウがポップアップする(①、②)
2. [ウィジェットの移動]の[ページ]のダウリストから移動先のページを選択し、[OK]をクリックする(③、④)
3. ウィジェットは、移動元ページから移動先ページに移動する(⑤、⑥)
4. 移動先ページでのデータ表示は、[更新]ボタンをクリックすると実施する(⑦、⑧)

ピボット分析 工数のピボット分析①

表計算ソフトのピボットテーブルのような操作で、実績時間を集計・分析できます。
実績エクスポート・タスク詳細・リソース詳細機能よりも詳細に、直感的に様々な軸で集計・分析できます。
ここでは、ノードに複数の属性を付与する事で、さまざまな角度から工数分析できる例を説明します。

分析軸の準備

ここでは、「設計範囲」、「機能カテゴリ」を分析軸として工数分析をするために、ガントテーブルに準備します。

	名前	設計範囲	機能カテゴリ	計画工数	実績工数	計画コスト	実績コスト
日	B2商品の開発			870	84.50	¥2,610,000	¥253,500
日	設計	①	②	870	84.50	¥2,610,000	¥253,500
日	A機能設計			300	22.50	¥900,000	¥67,500
	A-1部階設計	ソフトウェア設計	アプリケーション部	80	9.00	¥240,000	¥27,000
	A-2部階設計	ソフトウェア設計	アプリケーション部	120	6.50	¥360,000	¥19,500
	A-3部階設計	ソフトウェア設計	アプリケーション部	100	7.00	¥300,000	¥21,000
日	B機能設計			210	33.00	¥630,000	¥99,000
	B-1部階設計	ソフトウェア設計	レイヤ2,3通信部	50	8.00	¥150,000	¥24,000
	B-2部階設計	ソフトウェア設計	レイヤ2,3通信部	60	15.50	¥180,000	¥46,500
	B-3部階設計	ハード設計(ファーム設計含)	レイヤ2,3通信部	100	9.50	¥300,000	¥28,500
日	C機能設計			360	29.00	¥1,080,000	¥87,000
	C-1部階設計	ハード設計(ファーム設計含)	レイヤ1通信部	200	10.50	¥600,000	¥31,500
	C-2部階設計	ハード設計(ファーム設計含)	レイヤ1通信部	60	9.50	¥180,000	¥28,500
	C-3部階設計	ハード設計	レイヤ1通信部	100	9.00	¥300,000	¥27,000

フィールド	フィールド値
設計範囲	ノードの設計範囲 入力データ: ソフト設計,ハード設計, ハード設計(ファーム設計含む)
機能カテゴリ	ノードの設計階層 入力データ: アプリケーション部,レイヤ2,3通信部, レイヤ1通信部,

設計範囲及び機能カテゴリ毎に工数分析をするため、ノードのカスタムフィールドを利用して[設計範囲]、[機能カテゴリ]を追加し、データを入力する(①、②)

なお、これら分析軸のガントテーブルへの追加は、カスタムフィールドを利用し追加します。追加方法は、本書「プランナー カスタムフィールドの利用法」をご覧ください。

ピボット分析 工数のピボット分析②

ピボット分析の方法

「設計範囲」、「機能カテゴリ」毎に工数分析できるピボット分析結果を出力する操作方法を示します。

The screenshots illustrate the following steps:

- Opening the 'Pivot Analysis' window from the 'File' menu.
- Registering a new group in the 'New Group' dialog.
- Clicking 'View Addition' in the 'Group View' pane.
- Completing the 'View Creation' wizard.
- Clicking 'OK' in the 'View Creation' dialog.
- Clicking 'Field List' in the 'View Creation' dialog.
- Dragging fields to the grid in the 'Field List' window.
- Dragging fields to the grid in the 'Field List' window.
- Clicking 'Display Settings' in the 'Field List' window.
- Clicking 'Update' in the 'Field List' window.
- The resulting pivot table for 'Actual Work'.
- The resulting pivot table for 'Actual Work' with a different filter.

1. [ファイル]-[開く]-[ピボット分析]を実行する
2. 始めに、[グループ・ビュー]ペインの[新しいグループ]にグループ名を登録するため、[新しいグループ]上で右クリックしてポップアップする[メニュー]から[グループ名変更]を選択し、グループ名を記入する (①、②)
3. 次に、[グループ・ビュー]ペインの[プロジェクト分析]上で右クリックしてポップアップする[メニュー]から[ビューの追加]をクリックして選択して、[ビュー作成]ウィンドウのウィザードに従い、各種設定を行い、最後のページで、[完了]ボタンをクリックする(③、④、⑤)
4. [ビュー作成完了]がポップアップし、ビュー表示のする場合は、[OK]ボタンをクリックする(⑥)
5. [フィールド一覧]ウィンドウから、[ピボットグリッド]の[行エリア]、[列エリア]、[データエリア]に[フィールド]をドラッグする(⑦、⑧)
6. [表示設定]ペインで、表示設定し[更新]ボタンをクリックすると、工数のピボット分析表示する(⑨、⑩、⑪、⑫)



グループは、[グループ・ビュー]ペイン内の右クリックでポップアップする[グループ追加]でいくつでも追加可能



[ビュー作成]ウィンドウのウィザードの各種設定内容は、ヘルプご覧下さい。

基本操作－他システムとの連携

プランナー 高度なクリップボード連携①

Professional Editionでは、プロジェクトのWBSの情報をクリップボードに出力、またクリップボードの内容でWBSの更新が出来ます。ここでは、クリップボード連携の代表的な使い方を説明します。

代表的な使い方

ここでは、プランナーで作成した計画のテンプレートをコピーし表計算ソフト等に貼り付け、計画を編集し、編集した計画をプランナーに貼り付ける一連の操作を説明します。



1. (作業情報のコピー) 表計算ソフトで編集するプランナーのノードデータをTSV形式(タブ区切りテキスト)でコピー (①)
2. (作業情報の変更) 表計算ソフトで計画を編集 (②)
3. (作業情報の更新) 編集した計画データをプランナーに[貼り付け] (③)

プランナー 高度なクリップボード連携②

作業情報のコピー

プランナーのノードデータをTSV形式(タブ区切りテキスト)で表計算ソフトにコピーする操作を説明します。

The screenshot shows the 'Copy - Field Relationship' dialog box in the TimeTracker FX Professional Edition software. The dialog box has a 'Mapping' section with a table for mapping fields to output names. The 'Output' column lists fields like '名前', 'リソース名', '開始日', '終了日', and '進捗率'. The 'Field' column lists corresponding fields in the software, such as '名前 (Name)', 'リソース名 (Assignments)', '開始日 (PlannedStartDate)', '終了日 (PlannedFinishDate)', and 'なし'. The 'Add' button is highlighted. Below the dialog box, a table of TSV data is shown, with columns for '名前', 'リソース名', '開始日', '終了日', '進捗率', 'ProjectID', and 'NodeID'. The table contains data for various tasks, including 'B1商品の開発' and 'A-1部設計書作成'.

名前	リソース名	開始日	終了日	進捗率	ProjectID	NodeID
B1商品の開発		2006/09/15	2006/11/30	0.00%	37	-3
設計		2006/11/01	2006/11/30	0.00%	37	-5
A-1部設計書作成				0.00%	37	-7
A-1部設計書更新				0.00%	37	-8
A-2部設計書作成				0.00%	37	-9
A-2部設計書更新				0.00%	37	-10
A-3部設計書作成				0.00%	37	-11

1. 作業情報を更新するノードを1つ以上選択する (①)
2. メニューの[編集]ー[TSV形式でコピー]を実行すると、[コピー - フィールドの関係付け]ダイアログがポップアップする (②、③)
3. [コピー - フィールドの関係付け]ダイアログでは、コピーする項目や、見出しとフィールドの関係を設定する
4. [追加]をクリックすると、新しいマッピングが追加され、[見出し]に見出し名を直接入力し、[フィールド]のドロップダウンリストから、コピーするフィールドを選択する (④、⑤)
5. [1行目を見出しにする]にチェックをいれると、1行目にフィールド名を出力する (⑥)
6. [データの同期が行えるようにIDのフィールドを出力する]にチェックをいれると、ノードのIDを出力する (⑦)
7. ノードのIDを含めたデータを貼り付けると、対象ノードのフィールドにデータ更新できる (詳細は、プランナー 高度なクリップボード連携④参照)
8. [OK]ボタンをクリックすると、作業情報とノードIDがクリップボードにコピーされる (⑧)
9. 表計算ソフトへ貼り付ける (⑨)

プランナー 高度なクリップボード連携③

作業情報の変更

プランナーからコピーした作業情報を変更・編集します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	名前	リソース名	開始日	終了日	進捗率	[ProjectID]	[NodeID]
2	A-1 部設計書作成				0.00%	37	-3
3	A-1 部設計書更新				0.00%	37	-5
4	A-2 部設計書作成				0.00%	37	-7
5	A-2 部設計書更新				0.00%	37	-9
6	A-3 部設計書作成				0.00%	37	-11

作業情報

ノードID

	A	B	C	D	E	F	G
1	名前	リソース名	開始日	終了日	進捗率	[ProjectID]	[NodeID]
2	A-1 部設計書作成	日口和明	2006/11/1	2006/11/10	100.00%	37	-3
3	A-1 部設計書更新	児島優作	2006/11/8	2006/11/10	50.00%	37	-5
4	A-2 部設計書作成	上田次郎	2006/11/11	2006/11/21	50.00%	37	-7
5	A-2 部設計書更新	里田和宏	2006/11/18	2006/11/21	50.00%	37	-9
6	A-3 部設計書作成	岡本直哉	2006/11/22	2006/11/30	50.00%	37	-11

②

③

1. 作業情報の変更するデータを編集する (①)
2. この例では、各タスクの[リソース名]、[開始日]、[終了日]、[進捗率]を編集(②)
3. 変更した作業情報を、[NodeID]が一致するノードに対して貼り付ける場合は変更禁止(③)

プランナー 高度なクリップボード連携④

作業情報の更新

① 表計算ソフトで作成した計画データ（作業情報とNodeID）の領域をTSV形式（タブ区切りテキスト）でコピー

② 計画データを貼り付けるノードを選択し、メニューの[編集]または[プランナー]ウィンドウ内の右クリックでポップアップするメニューの[貼り付け]を実行する

③ [貼り付け]を実行すると、[貼り付け - フィールドの関係付け]ダイアログがポップアップし、マッピングを設定する

④ [貼り付け - フィールドの関係付け]ダイアログの[クリップボードの内容を確認]をクリックすると、[クリップボード]がポップアップし確認出来る

⑤ [OK]ボタンをクリックすると、この例ではノードIDが含まれた計画データのため、[貼り付け方法の確認]ダイアログがポップアップし、[ノード更新する]をクリックと、[NodeID]が一致するノードに対し作業情報を貼り付ける

⑥ 作業情報の貼り付けと同時に、[貼り付け結果]がポップアップされる

⑦ この例では、[リソース名]がプロジェクトメンバーにない名前が書き込まれたため警告している

1. 表計算ソフトで作成した計画データ（作業情報とNodeID）の領域をTSV形式（タブ区切りテキスト）でコピー①
2. 計画データを貼り付けるノードを選択し、メニューの[編集]または[プランナー]ウィンドウ内の右クリックでポップアップするメニューの[貼り付け]を実行する②
3. [貼り付け]を実行すると、[貼り付け - フィールドの関係付け]ダイアログがポップアップし、マッピングを設定する③
4. [貼り付け - フィールドの関係付け]ダイアログの[クリップボードの内容を確認]をクリックすると、[クリップボード]がポップアップし確認出来る④
5. [OK]ボタンをクリックすると、この例ではノードIDが含まれた計画データのため、[貼り付け方法の確認]ダイアログがポップアップし、[ノード更新する]をクリックと、[NodeID]が一致するノードに対し作業情報を貼り付ける⑤、⑥
6. 作業情報の貼り付けと同時に、[貼り付け結果]がポップアップされる
この例では、[リソース名]がプロジェクトメンバーにない名前が書き込まれたため警告している⑦



この一連動作ではフィールドの変更をしていないためマッピング変更はしない。変更方法はヘルプを参照して下さい。